

大阪城公園パークマネジメント事業 令和2年度 事業報告書

大阪城パークマネジメント共同事業体

(代表者)

大阪府大阪市中央区大阪城1番1号

大阪城パークマネジメント株式会社

代表取締役 木下 健治

【担当者】



目 次

1. 令和2年度の事業報告についての概要	P 2
2. 成果指標にかかる数値結果等	P 4
3. 令和2年度 収支実績報告書	P 5
4. 大阪城天守閣にかかる事業報告書	P 11
5. 駐車場にかかる事業報告書	P 26
6. 大阪城音楽堂にかかる事業報告書	P 27
7. 大阪城西の丸庭園、迎賓館、豊松庵にかかる事業報告書	P 29
8. 大阪城野球場にかかる事業報告書	P 32
9. JO-TERRACE OSAKA にかかる事業報告書	P 34
10. MIRAIZA OSAKA-JO にかかる事業報告書	P 36
11. 森之宮噴水エリアにかかる事業報告書	P 41
12. COOL JAPAN PARK OSAKA にかかる事業報告書	P 42
13. 園内交通システムにかかる事業報告書	P 43
14. 施設・公園管理にかかる事業報告書	P 45
15. 植栽管理にかかる事業報告書	P 49
16. 観光拠点化推進にかかる事業報告書	P 56

1. 令和2年度の事業報告についての概要

令和2年度は期初より新型コロナウイルスの感染拡大により、天守閣の休館や西ノ丸庭園の休園や桜の時期には公園利用者へシートを敷いての花見の制限、緊急事態宣言などの感染拡大状況に応じたイベントの自粛などを行いながら、コロナ禍における市民の憩いの場としての公園運営を行ってまいりました。

平成30年度に当初予定していた魅力向上事業における施設整備がすべて完了し、令和元年度からはこれらの施設を生かした誘致活動などのPR施策やイベントの実施、来園者への案内機能の強化と歴史的魅力の発信に取り組みました。そして維持管理においては省エネへの取り組みや既存ストックを活用した魅力発信、懸案箇所の計画的な修繕や美装化に取り組みました。令和2年度はそれらの取り組みをさらに加速させる年度のはずでしたが、世界中で発生した新型コロナウイルス感染拡大により、海外からの観光客が3月までに完全にいなくなり、そればかりか国内観光客までが姿を消しました。

公園内の各施設も新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組み、大阪市からの指示で大阪城天守閣は2月29日から臨時休館、西の丸庭園も3月3日から臨時休園し、利用を見込めない多くの飲食店等テナントも休業や時間短縮での営業を強いられました。令和2年度はこのような有料施設の営業ができない非常事態の中、ひっそりと始まりました。

感染拡大が勢いを弱め、緊急事態宣言も解除となった後、5月20日に大阪城天守閣が再開しましたが、入場者数は3桁で推移し、その後も週末は4桁に届く日があるものの、入場者数の約4割を占めていた国内の来館者においても以前の数まで戻っていません。年間の入場者数は約24万人で、これは一昨年度の1か月平均を少し上回る程度の入場者数です。園内の飲食店や園内交通システム、御座船についても、11月と3月は例年の半分から3分の2の売り上げにりましたが、他の月は低迷しました。

昨年度にリニューアルしたホームページ内で園内のお花MAPを公開し、外の空気を吸いたくなった市民の方への目的提供を試みました。年度通じて観光客の姿は少ない中、園内の樹木、草花の前で写真を撮る方が多数見られ、1月後半から3月初めまでには、梅林に例年以上の多数の市民の方が来園されたことで、市民に支持される取り組みであったと意を強くしました。

園内のイベントについては、西の丸庭園の「観桜ナイト」、3月下旬からGWまで季節限定のバーベキュー「和ーベキュー」、GW太陽の広場「餃子フェス」等の自主事業は中止。大阪市から申し込みを頂く園内イベントも軒並み中止、延期となりました。再開は8月にジョー・テラス・オオサカ前で開催した「大阪城マルシェ」、太陽の広場は9月シルバーウィークの「YATAIフェス」まで待たなくてはなりませんでした。その後も大阪マラソン、大阪城だんじり等の大型イベント中止が続く中、苦境が続く興行事業者を救済しようと大阪市が事業者を公募し、開催した「大阪城西の丸庭園野外公演事業」で10月24日から11月4日に4度コンサートが開催されました。弊社は事務局業務を受注し、新型コロナウイルス感染拡大防止という新しい命題の中で行われる「ニューノーマル」なイベント運営を経験しました。

このイベントと入れ替わるように11月～3月にかけて西の丸庭園において「大阪城イルミネーション」を開催しましたが、来場者数は3万人台と苦戦。令和3年12月まで開催予定だった大阪城ナイトウォーク「サクヤルミナ」は主要顧客であったインバウンドの回復が見込めず、1月3日を最後に早期終了となりました。大阪のナイトツーリズム推進の流れやインバウンドに傾倒した観光施策を行ってまいりましたが、今後はアフターコロナの状況を見ながら国内観光客へのシフトを進めてまいりたいと思います。天守閣主催の年4回の本丸広場でのイベントも、夏の豊国踊りと秋のイベントは開催しましたが、GWと年始は休止しました。

維持管理においては、天守閣においてキャッシュレス券売機を導入し、現金購入しかできなかった従来と比較して利用者の利便性が飛躍的に向上しました。また、共同事業体に参画する電通が、三菱UFJ銀行に、園内マラソンコースの再整備事業への寄付を提案し、決定。大阪城パークマネジメント株式会社が看板・サインの撤去・設置とメンテナンスを受託し、完成したサイン等一式は三菱UFJ銀行から大阪市へ寄付されました。新しい看板はランナー以外の来園者も利用、綺麗になってよかったとの声も届いています。

課題も浮かび上がってきました。世界に誇る大阪城天守閣ですが、遠方への外出をためらう期間が多い中、令和2年度の来館者アンケート結果からはじめて来館される方の割合が依然として約6割おられ、大阪府民や市民に繰り返し来て頂ける施設になっていないことがわかりました。大阪城天守閣は、市民の生涯にわたる学習活動を支援することにより、市民の文化と教養の向上、学術の発展及び観光に寄与することを設置目的の一つとしています。大阪市民の来館を促進する為に天守閣の実施するイベントや展示とその他各施設の連携等をさらに強化し一体感のある魅力発信を行っていく取り組みに一層注力してまいります。

桜梅桃李などの花木を活用した公園としての季節に応じた魅力発信については、本年度に拡充が出来ました。今後は大阪城公園全体、周辺地域、施設との連携をさらに図ってまいります。

引き続き大阪城公園の観光地としての魅力と市民の憩いの場としての魅力を高めるとともに来園者の周遊性向上に向けた取り組みを継続していきたいと思っています。

2. 成果指標にかかる数値結果等

(1) 大阪城天守閣の入場者数

年間入場者数 **241,230 人** (計画数値：184 万人)

(2) 大阪城公園本丸エリアへの来園者数(推計)

年間来園者数 **48 万人**(推計) (計画数値：412 万人)

(天守閣の入場者数×2.24 倍、平成 27 年度～30 年度実施の動向調査による平均推計値)

(3) 大阪城公園への来園者数(推計)

年間来場者数 **115 万人** (計画数値：876 万人)

(天守閣の入場者数×4.76 倍、同上)

(4) 大阪城野球場、大阪城西の丸庭園、豊松庵、大阪城音楽堂の利用者(件)数

大阪城野球場：年間利用件数 **740 件** (計画数値：900 件)

大阪城西の丸庭園：年間有料入園者数 **30,438 名** (計画数値：400,000 人)

豊松庵：年間利用件数 **66 件** (計画数値：120 件) 稼働率 23%

大阪城音楽堂：年間利用件数 **70 件** (計画数値：100 件) 稼働率 19.3%

(5) 大阪城公園利用者への満足度調査結果

※令和 2 年 10 月 23 日(金)～25 日(日)実施の動向調査による。(非常に満足、まあまあ満足、普通、あまり満足でない、不満足)の 5 段階評価)

天守閣 満足度(非常に満足、まあまあ満足) **91.2%** (計画数値：85%)

設問：「本日、大阪城天守閣に来館されての満足度を教えてください。」

回答者数：871 名

公園全体満足度(同上) **94.3%** (計画数値：85%)

設問：「本日大阪城公園にご来園されての満足度を教えてください」

回答者数：199 名

(6) 大阪市への納付金額

基本納付金 34,000,000 円(計画 260,000,000 円)

変動納付金 0 円(計画 8,622,000 円)

3. 令和2年度 収支実績報告書（単位：円、消費税抜額）

事業名	PMO事業全体
-----	---------

項目	令和2年度
大阪城公園利用収益	99,161,625
<建設局>西の丸庭園、豊松庵、迎賓館	36,095,702
<建設局> 駐車場	123,256,313
<建設局>JO-TERRACE OSAKA	220,276,699
<建設局>MIRAIZA OSAKA-JO(旧第四師団司令官邸)	210,194,642
<建設局>森ノ宮噴水エリア(噴水前3店舗)	31,853,600
<建設局>屋内音楽堂(クールジャパンパーク)	143,760,000
<経済戦略局>大阪城天守閣	125,422,065
<教育委員会事務局>大阪城音楽堂	20,062,995
(1)売上高	1,010,083,641
(2)売上原価	608,899
(3)売上原価益((1)-(2))	1,009,474,742
<建設局>大阪城公園維持管理	342,625,135
<建設局>大阪城公園利用収益(野球場、売店、園地等)	47,547,119
<建設局>西の丸庭園、豊松庵、迎賓館	25,079,786
<建設局> 駐車場	68,097,073
<建設局>JO-TERRACE OSAKA	179,100,535
<建設局>MIRAIZA OSAKA-JO(旧第四師団司令官邸)	167,052,887
<建設局>森ノ宮噴水エリア(噴水前3店舗)	5,655,461
<建設局>屋内音楽堂(クールジャパンパーク)	11,796,457
<経済戦略局>大阪城天守閣	450,558,926
<教育委員会事務局>大阪城音楽堂	48,318,364
(4)共通経費 ※1	0
(4)販売費及び一般管理費	1,345,831,743
(5)営業損益((3)-(4))	-336,357,001
各事業直属収益 合計	153,483,512
共通収益配賦額 合計	18,331
①営業外収益 小計	153,501,843
各事業直属費用 合計	49,925,098
共通費用配賦額 合計	464,134
②営業外費用 小計	50,389,232
(6)営業外損益 総計(①-②)	103,112,611
(7)税引前当年度損益 ((5)+(6)-(10))	-267,244,390
(8)法人税、住民税、事業税、その他公租公課	1,490,000
(9)当年度損益((7)-(8))	-268,734,390
基本納付金 ※2	260,000,000
コロナ禍損失補填(経済戦略局)相殺	-226,000,000
奨励納付金	
(10)大阪市への納付金	34,000,000
コロナ禍損失補填(建設局)	11,511,829
コロナ禍損失補填(経済戦略局)	216,573,191
コロナ禍損失補填(教育委員会)	26,259,530
(A)コロナ禍損失補填額(大阪市)合計	254,344,550
(11)前年度繰越利益剰余金(前年度の(12)) ※3	2,052,099,890
(12)当年度繰越利益剰余金((9)+(A)+(11)) ※3	2,037,710,050

※1 共通経費は各事業へ配賦済 (合計 178,704,491 円)

※2 基本納付金内訳(経済戦略局226百万円、建設局34百万円)

※3 上記の利益剰余金はPMOに帰属するものですが、本収支実績報告書計算上の事業開始からの累計額に過ぎず、PMOは本収支実績報告書対象外の魅力向上事業における新規施設の大阪市への寄付等による支出の方が過大である為、上記剰余金が現存しているわけではありません。

個別	<建設局>
事業名	大阪城公園維持管理

項目	令和2年度
(1)売上高	0
(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)-(2))	0
広告宣伝費(地図サイン変更等)	1,974,610
管理委託費等	256,270,790
水道光熱費	37,444,739
通信費	575,803
備品費	0
消耗品費	946,925
修繕費	7,593,160
保守維持費	333,100
租税公課	210,200
その他	70,846
<上記の小計>	305,420,173
改修費	4,670,000
減価償却費	6,552,353
【事業直属費計】	316,642,526
共通費	25,982,609
(4)販売費及び一般管理費	342,625,135
(5)営業損益((3)-(4))	-342,625,135
雑収入	75,000
共通助成金収入(雇用調整助成金・持続化給付金等)	409,062
共通雑収入等	2,666
①営業外収益 小計	486,728
支払利息相当額(リース契約)	855,650
共通費用	67,480
②営業外費用 小計	923,130
(6)営業外損益 総計(①-②)	-436,402
(7)当年度損益((5)+(6))	-343,061,537

個別 事業名	＜建設局＞ 大阪城公園利用収益(野球場、売店、園地施設・利用等)
-----------	-------------------------------------

項目	令和2年度
野球場	2,348,341
売店・自動販売機等 運営委託事業	61,026,605
露店・ケーシングカー・催事等 委託事業	12,162,147
公園行為許可業務	5,064,961
御座船 運営委託事業	821,609
園内交通システム 運営委託事業	910,482
櫓公開事業	1,827,480
サクヤルミナ 運営委託事業	15,000,000
(1)売上高	99,161,625
(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)－(2))	99,161,625
野球場	2,106,261
売店・自動販売機等 運営委託事業	537,922
露店・ケーシングカー・催事等 委託事業	7,262,986
公園行為許可業務	2,934,414
御座船 運営委託事業	768
園内交通システム 運営委託事業	691
櫓公開事業	17,595,441
サクヤルミナ 運営委託事業	0
修繕費	1,359,090
その他	158,400
＜上記の小計＞	31,955,973
改修費	3,489,000
減価償却費	976,645
【事業直属費計】	36,421,618
共通費	11,125,501
(4)販売費及び一般管理費	47,547,119
(5)営業損益((3)－(4))	51,614,506
大阪市/休業補填(野球場)	192,932
共通 助成金収入 (雇用調整助成金・持続化給付金等)	175,156
共通 雑収入等	1,141
①営業外収益 小計	369,229
雑損失	
共通費用	28,896
②営業外費用 小計	28,896
(6)営業外損益 総計(①－②)	340,333
(7)当年度損益((5)＋(6))	51,954,839

個別 事業名	＜建設局＞ 西の丸庭園、豊松庵、迎賓館
-----------	------------------------

項目	令和2年度
西の丸庭園	3,463,015
西の丸庭園(自主事業)	1,972,080
豊松庵	82,730
豊松庵(自主事業)	1,802,191
迎賓館 運営委託事業	28,775,686
(1)売上高	36,095,702
(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)－(2))	36,095,702
西の丸庭園	9,360,277
西の丸庭園(自主事業)	5,880,322
豊松庵	1,368,335
豊松庵(自主事業)	177,467
迎賓館 運営委託事業	2,617,431
修繕費	321,705
その他	0
＜上記の小計＞	19,725,537
改修費	0
減価償却費	715,072
【事業直属費計】	20,440,609
共通費	4,639,177
(4)販売費及び一般管理費	25,079,786
(5)営業損益((3)－(4))	11,015,916
大阪市/休業補填(西の丸・豊松庵)	1,071,546
共通 助成金収入 (雇用調整助成金・持続化給付金等)	73,037
共通 雑収入等	476
①営業外収益 小計	1,145,059
共通費用	12,050
②営業外費用 小計	12,050
(6)営業外損益 総計(①－②)	1,133,009
(7)当年度損益((5)＋(6))	12,148,925

個別 事業名	<建設局> 駐車場
-----------	--------------

項目	令和2年度
城南バス駐車場（臨時普通車含む）	21,321,869
大阪城公園駅前普通車駐車場	46,550,550
森ノ宮駅前駐車場	55,383,894
(1)売上高	123,256,313
(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)－(2))	123,256,313
諸手数料(クレジットカード決済)	672,738
管理委託費等	46,053,475
水道光熱費	278,902
修繕費	0
保守維持費	480,000
保険料	444,030
その他	86,741
<上記の小計>	48,015,886
改修費	0
減価償却費	5,570,108
【事業直属費計】	53,585,994
共通費	14,511,079
(4)販売費及び一般管理費	68,097,073
(5)営業損益((3)－(4))	55,159,240
大阪市/休業補填	2,212,254
共通 助成金収入 (雇用調整助成金・持続化給付金等)	228,456
共通 雑収入等	1,489
①営業外収益 小計	2,442,199
支払利息(リース契約)	369,464
共通費用	37,688
②営業外費用 小計	407,152
(6)営業外損益 総計(①－②)	2,035,047
(7)当年度損益((5)＋(6))	57,194,287

個別 事業名	<建設局> UO-TERRACE OSAKA
-----------	---------------------------

項目	令和2年度
I 期(AーFテラス)店舗運営委託事業	134,819,325
直営オフィシャルショップ事業	5,823,970
Ⅱ 期(Gテラス・キャスルガーデン)店舗運営委託	79,633,404
(1)売上高	220,276,699
直営オフィシャルショップ事業	152,658
(2)売上原価	152,658
(3)売上原価益((1)－(2))	220,124,041
販売促進費(広告宣伝・催事)	1,202,567
人件費	29,815,569
管理委託費等	67,207,369
水道光熱費	0
備品・消耗品費	782,830
賃借料(備品レンタル等)	1,086,220
通信費	814,125
修繕費	3,907,750
保守維持費	83,800
その他	2,729,012
<上記の小計>	107,629,242
改修費	0
減価償却費Ⅰ期	7,677,365
減価償却費Ⅱ期キャスルガーデン	33,496,007
【事業直属費計】	148,802,614
共通費	30,297,921
(4)販売費及び一般管理費	179,100,535
(5)営業損益((3)－(4))	41,023,506
雑収入	3,530,386
雇用調整助成金	1,187,991
共通 助成金収入 (雇用調整助成金・持続化給付金等)	476,999
共通 雑収入等	3,107
①営業外収益 小計	5,198,483
支払利息相当額(リース契約)・雑損失	138,088
雑損失	15,926
解約示談金・残置物撤去処分費	3,103,091
共通費用	78,691
②営業外費用 小計	3,335,796
(6)営業外損益 総計(①－②)	1,862,687
(7)当年度損益((5)＋(6))	42,886,193

個別	<建設局>
事業名	MIRAIZA OSAKA~JO(旧第四師団司令部庁舎)

項目	令和2年度
店舗運営委託事業	209,821,937
(地下)イリュージョン・ミュージアム	372,705
(地下)殺陣道場	0
(1)売上高	210,194,642
(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)-(2))	210,194,642
販売促進費(広告宣伝・催事)	427,248
人件費	11,257,529
管理委託費等	51,630,698
水道光熱費	7,472,218
備品・消耗品費	454,911
修繕費	511,470
保守維持費	237,310
通信費	847,964
賃借料(小額備品リース・レンタル料)	943,350
(地下)イリュージョン・ミュージアム	16,470,408
(地下)殺陣道場	670,563
その他	561,737
＜上記の小計＞	91,485,406
改修費	0
減価償却費	46,959,319
【事業直属費計】	138,444,725
共通費	28,608,162
(4)販売費及び一般管理費	167,052,887
(5)営業損益((3)-(4))	43,141,755
共通 助成金収入 (雇用調整助成金・持続化給付金等)	450,395
共通 雑収入等	2,934
①営業外収益 小計	453,329
支払補償金	10,000,000
固定資産除売却損	2,022,807
共通費用	74,302
②営業外費用 小計	12,097,109
(6)営業外損益 総計(①-②)	-11,643,780
(7)当年度損益((5)+(6))	31,497,975

個別	<建設局>
事業名	森/宮噴水エリア(噴水前3店舗)

項目	令和2年度
噴水前3店舗運営委託事業	31,853,600
(1)売上高	31,853,600
(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)-(2))	31,853,600
販売促進費(広告宣伝・催事)	
管理委託費等	1,326,000
備品・消耗品費	0
修繕費	0
保守維持費	0
その他	0
＜上記の小計＞	1,326,000
改修費	
減価償却費	1,485,002
【事業直属費計】	2,811,002
共通費	2,844,459
(4)販売費及び一般管理費	5,655,461
(5)営業損益((3)-(4))	26,198,139
共通 助成金収入 (雇用調整助成金・持続化給付金等)	44,782
共通 雑収入等	292
①営業外収益 小計	45,074
共通費用	7,388
②営業外費用 小計	7,388
(6)営業外損益 総計(①-②)	37,686
(7)当年度損益((5)+(6))	26,235,825

個別	<教育員会事務局>
事業名	大阪城音楽堂

項目		令和2年度
	音楽堂 利用料	14,719,636
	付帯設備使用料	4,738,806
	ミーティングルーム使用料	0
	自動販売機 運営委託事業	604,553
(1)売上高		20,062,995
(2)売上原価		0
(3)売上原価益((1)-(2))		20,062,995
	人件費	18,071,149
	管理委託費等	17,834,000
	水道光熱費	3,800,117
	通信費	108,723
	備品費	208,086
	消耗品費・事務用品費	480,450
	賃借料(小額リース・レンタル)	284,803
	修繕費	283,164
	保守維持費	60,000
	その他	60,386
	＜上記の小計＞	41,190,878
	改修費	500,000
	減価償却費	1,441,859
	【事業直属費計】	43,132,737
	共通費	5,185,627
(4)販売費及び一般管理費		48,318,364
(5)営業損益((3)-(4))		-28,255,369
	受取保険金	748,000
	雇用調整助成金	128,073
	共通 助成金収入 (雇用調整助成金・持続化給付金等)	81,640
	共通 雑収入等	532
	①営業外収益 小計	958,245
	共通費用	13,468
②営業外費用 小計		13,468
(6)営業外損益 総計(①-(②))		944,777
(7)当年度損益((5)+(6))		-27,310,592

4. 大阪城天守閣にかかる事業報告書

昭和6年に大阪市民の寄付によって復興された大阪城天守閣は、大阪はもとより日本の文化観光のシンボルという特徴を備えた歴史博物館である。

令和2年度は、長浜城との姉妹城連携事業として特別展「豊臣家ゆかりの“天女の島”」(令和2年3月20日～5月10日)を企画。同じく連携事業として長浜市長浜城歴史博物館にて開催された企画展「竹生島弁才天」(令和2年11月28日～令和3年1月17日)では、会期中の相互割引を実施した。令和2年10月10日(土)のキックオフイベントを皮切りに開始した「大阪・尼崎・岸和田 三城同盟 参城キャンペーン」では、大阪城と尼崎城、岸和田城の三城が連携・協力しながら相互の歴史的関係を多くの方に知っていただき、三城と各城下町、また周辺のゆかりの地にも足をのばして、まちの歴史や魅力、そして奥深さを楽しんでいただくよう内外にアピールするとともに、来館者の満足度向上に貢献した。また、秋にはテーマ展「秀吉の生涯」を開催し、集客促進のための、幅広い情報提供や広報宣伝にも力を入れた。また、キャッシュレス券売機を導入し、利用者の利便性が向上した。

本年度の天守閣入館者数は、上記のようなアピール・集客促進努力にもかかわらず、前年度2,181,850人から1,940千人減(88.9%減)の241,230人となった。

この入館者減少は、一にも二にも新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が原因である。具体的には、新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年2月29日～令和2年5月19日の間の臨時休館。二度の緊急事態宣言の発出(令和2年4月7日～5月21日、令和3年1月13日～2月28日の二度[※大阪府の緊急事態宣言期間])により、外出が制限されたこと。緊急事態宣言解除後も、不要不急の外出の自粛が求められたり、都道府県域を越えての往来の自粛要請などが行われたこと。さらに、多くの国で海外渡航制限等の措置が取られ、日本においても検疫強化、査証の無効化等の措置が取られたため訪日外客数が激減したことも、大きな要因となった。

【参考】韓中訪日者数の前年比伸率%(日本政府観光局の推計値)と天守閣入館者伸率

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
外客総数	-1.1	-58.3	-93.0	-99.9	-99.9	-99.9	-99.9	-99.7	-99.4	-98.9	-97.7	-97.7	-98.3	-99.3
韓国	-59.4	-79.9	-97.2	-99.9	-100.0	-100.0	-99.9	-99.8	-99.3	-99.0	-98.6	-98.9	-99.2	-99.4
中国	22.6	-87.9	-98.5	-100.0	-100.0	-100.0	-99.9	-99.8	-99.6	-99.4	-97.6	-97.4	-98.9	-98.1
天守閣	-7.9	-46.8	-100.0	-100.0	-97.6	-93.9	-94.1	-93.0	-85.5	-84.1	-76.6	-93.1	-94.2	-80.8

※令和2年2月29日～5月19日 新型コロナウイルス(COVID-19)拡大防止のため臨時休館

1. 資料の収集、保管事業

本年度は「羽柴秀吉書状(くり石奉行中宛)」、「織田信長書状(小早川隆景宛)」、「藤堂高虎関係文書」など5件の購入(大阪市)、「大阪夏御陣 全」1冊の寄付があった。高い資料的価

値と展示効果を有するこれらの資料を収集・管理する学芸員の業務に協力した。

2. 展示事業

① 企画展示

2ヶ月を目途に文化財展示を全面的に更新し、そのつど3階・4階のフロアごと、新しいテーマの展示を立案した。

本年度は、「織田軍団の諸将」「戦乱の子、太平の子 ～子どもにみる戦国・江戸時代～」
「秀吉 天下人への足どり―資料と写真でたどる―」「逆賊の日本史」「ヒデヨシ外伝」「織田から羽柴へ～麒麟は行っちゃった～」「城と合戦」「信長・秀吉・家康が見た大坂」の計8本の企画展示と夏の展示「大坂冬の陣図屏風（デジタル想定復元）完成記念 大坂冬の陣・夏の陣図屏風～豊臣 vs 徳川 激闘の記憶～」(凸版印刷株式会社共催)を実施。夏の展示では、大阪城天守閣が協力し、凸版印刷株式会社が実施した復元プロジェクトの成果である「大坂冬の陣図屏風（デジタル想定復元）」を関西で初めてお披露目し、「大阪城天守閣が所蔵する大坂夏の陣図屏風（重要文化財）」とともに特別公開して反響を呼んだ。

② 特別展

「豊臣家ゆかりの“天女の島” 一びわ湖竹生島の歴史と宝物」

(令和2年3月20日～5月10日)

観音霊場として、また「天女」と呼ばれた弁才天をまつる聖地として、人々の信仰を集めてきた竹生島は、長浜城主だった秀吉から保護され、秀吉没後にも秀頼から堂舎再興の支援をうけるなど、豊臣家とも深い関係を結んでいた。島内には、豊臣時代大坂城の現存唯一の建築遺構ものこされている。本展では重要文化財「竹生島文書」をはじめ、仏画や仏像、刀剣、工芸品など竹生島宝厳寺の宝物を関連資料とともに展示。しかし会期の全期間を通し、新型コロナウイルス（COVID-19）拡大防止のため臨時休館となったため、一般公開はできなかった。

③ テーマ展

「秀吉の生涯」(令和2年10月10日～11月29日)

庶民から身をおこして戦国乱世を統一した豊臣秀吉は、日本史上でも屈指の人気と知名度を誇る。虚実入り混じって伝わる彼の本当の経歴・業績は、いかなるものだったのか。人柄はどうだったのか。どのような人々が彼の躍進を支えていたのか。本展では大阪城天守閣の収蔵する数々の名品や新出資料を通して秀吉の生涯を追い、魅力の尽きないその人物像に迫った。期間中(51日間)の入館者は75,544人(1日平均1,481人)となり、一定の距離を保ちながら、落ち着いた環境で観覧していただくことができた。

「幕末大坂の風景—にぎわいと安らぎ—」(令和3年3月19日～5月30日)

江戸時代後半から幕末にかけ、大坂では出版文化の発達を背景に、さまざまな印刷媒体による風景画が数多く生み出された。一部の教養人のものだった風景画は誰でも親しめる身近な存在となり、挿絵画家や浮世絵師たちは大衆の心をつかむべく絵筆をふるった。本展では絵入りの名所案内、連作錦絵、一枚刷りの名所図や広告宣伝用の引札(チラシ)などに描かれた数々の風景画をとりあげ、人々が愛し、人々の暮らしを豊かに彩った、いにしえの大坂の姿を紹介。令和2年度中(13日間)の入館者は、28,715人(1日平均約2,209人)となり、盛況であった。

④ 常設展示

- ・7階「からくり太閤記」 モニター20台の交換工事を実施した。

3. 調査・研究事業

展示・普及事業の基礎として学芸員が実施する調査研究活動について側面的な協力を行った。

4. 教育・普及事業

- ① 収蔵品や関連資料の写真を作成管理し、公共機関や研究者、出版・放送関係機関等からの掲載や複製作成、商品化の要望に応じ積極的に提供することで、資料の普及に努めた。写真資料の提供数は572件1,713点におよんだ。

また、天守閣所蔵の主要写真15点をデジタルデータ化した。(PMOによる累計実績データ数は2,659点となった。)

- ② 他の博物館施設等からの文化財貸出依頼に対する出品や、展覧会の企画や展示指導等に関する特別協力依頼に応じた。
- ③ 3階図録頒布コーナーについては、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、シルバー人材の活用からミュージアムショップ・事務所職員の配置変更に切り替え、消毒液を設置して頒布を継続。また、通販による頒布を継続するとともに、新たに立ち上げた「大阪城オンラインショップ」においても頒布を開始した。
- ④ 館内の兜・陣羽織・小袖のレプリカ試着体験コーナーは令和2年2月29日から5月19日の天守閣休館以来、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本年度は全期間休止した。
- ⑤ 「重要文化財 大阪城の櫓 YAGURA 特別公開」との連携

新型コロナウイルスの影響により公開が中止されたり、期間短縮となったりすることがあったものの、令和2年度は約5千人が観覧、うち天守閣セット券による観覧は2.6千人であった。

(公開期間：令和2年4月1日～4月7日、令和2年6月6日～10月11日)

5. 学校や市民・各種団体等との連携に関する事業

① 学校や各種団体等との連携事業

- ・「第 49 回大阪城絵画展」(令和 3 年 1 月 2 日～1 月 31 日)

大阪の将来を担う幼稚園児・小学生・中学生が大阪城を大阪の誇りに思い、憩いの場としてより一層親しむと同時に、大阪の歴史・文化についての理解を深めることができるよう、大阪市内の幼稚園、小・中学校と連携し、大阪城の絵画を募集して入選作品を展示した。(応募作品数 1,435 点、うち入選作品数 37 点)また、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式については会場を従来のおおさか城天守閣会議室から大阪歴史博物館内の講堂に変更して開催した。

- ・地域・市民団体や企業、大阪城公園内および周辺イベントとの連携、企画協力や相互広報・相互入場割引などは画策すれども、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策によるイベントの取止めや中止のため、実施に至らなかった。

- ・「太閤なにわの夢募金」への協力

自主事業イベント「大阪城・長浜城姉妹城連携事業 駆け上がれ！秀吉～大阪城の秋まつり 2020～」(令和 2 年 11 月 21 日～11 月 23 日)において、PR ブースを提供した。また、前年度に続き実行委員会事務局運営に参加し、主に出納業務を行った。

② 地域との連携

- ・中央区民まつりへの協賛・広告を予定していたものの、今年度は新型コロナウイルスの影響により、「なにわの宮」での開催が中止され、オンラインでの開催と中央区民センターでの展示に形態を変えての開催となり、協賛・広告掲載の申し出はなかった。
- ・大阪義士会「大阪義士会子ども四十七士」は、新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、子ども時代行列等の事業を中止する旨主催者側から通知があり、表敬訪問受入は中止となった。
- ・大阪市・堺市の連携による魅力発信事業での割引対応

[令和 2 年 10 月 10 日～令和 2 年 11 月 29 日 5 名]

③ 他の博物館等との連携

- ・博物館学実習として 7 月 27 日から 31 日の 5 日間にわたって、8 校から 9 人の大学生を受け入れた。また、中学生の職場体験については学校側より中止の連絡があり、受入はなかった。

- ・姉妹城・友好城郭連携事業

長浜城との姉妹城連携事業として特別展「豊臣家ゆかりの“天女の島”」開催に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館となり、一般公開はできなかった。また、この展覧会に合わせて「秀吉出世の地・近江長浜～大阪城ファミリーフェスティバル 2020～」と銘打ち、同じく姉妹城連携事業としてゴールデンウィークにイベントを開催すべく準備を進めていたが、同様に見合せとなった。しかし秋のイベント「駆け上がれ！秀吉～大阪城の秋まつり 2020～」を姉妹城連携事業として開催し、ゴールデンウィークのイベントに出演いただく予定だった団体に、改めて出演いただくことができた。

- ・友好協定

豊臣秀吉の生誕地として知られる名古屋市中村区役所と友好協定を締結し、令和3年3月26日に大阪城天守閣において調印式を行った。

- ・全国城郭管理者協議会への参加、および加盟城との協力連携

令和2年7月に、コロナ禍の影響もあり、書面決議での総会を実施し、平成30年7月からの会長城としての活動を終了した。同総会にて、後任の会長城として就任した広島城への事務局の引継ぎをおこなった。

また、同協議会発行の「城のしおり」を販売（343冊）した。

- ・日本博物館協会・関西博物館連盟への参加、および加盟館との協力連携
- ・大阪歴史博物館との連携〔天守閣・歴博セット入券（5,259枚販売）〕
- ・他の博物館、大学、学校、学会その他国内外の関係機関との協力連携
博物館協会キャンパスメンバーズへの参画（8校 計680人入館）等
- ・尼崎城、岸和田城との連携事業（令和2年10月10日～）

江戸時代に西国支配の拠点であった大阪城と、大阪城の守衛という特別な任務を負った藩の拠点である尼崎城・岸和田城との歴史的関係性に焦点を当て、連携・協力して三つの城や城下町、周辺のゆかりの地等の歴史や魅力、奥深さについて紹介する「大阪・尼崎・岸和田 三城同盟 参城キャンペーン」を開始した。

④ 他の企業との連携

京阪ホールディングス株式会社との連携事業

- ・西国三十三所草創1300年記念「京阪沿線ぶらり巡礼」（令和2年3月～12月）

主催の京阪ホールディングス株式会社に協力し、西国三十三所巡礼の信仰や京阪沿線にある札所寺院について紹介する企画の提案、資料の画像提供等を行った。なお、西国三十三所の札所寺院である竹生島宝厳寺に関する特別展「豊臣家ゆかりの“天女の島”ーびわ湖竹生島の歴史と宝物」の広報タイアップならびに学芸員の出講を予定していたが（令和2年3月～5月）、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。この他の主な講座と歴史ウォークは、感染状況が比較的落ち着いた秋以降に集中的に開催された。

凸版印刷株式会社との連携事業

- ・「大坂冬の陣図屏風（デジタル想定復元）完成記念 特別オンライン対談 名場面から読み解く大坂の陣」（令和2年8月22日） チケット購入者：187人

大阪城天守閣が協力し、凸版印刷株式会社が実施した復元プロジェクトの成果である「大坂冬の陣図屏風（デジタル想定復元）」を展示する展覧会「大坂冬の陣図屏風（デジタル想定復元）完成記念 夏の展示 大坂冬の陣・夏の陣図屏風～豊臣 vs 徳川 激闘の記憶～」の開催を記念するイベントとして、屏風復元の監修者である奈良大学文学部教授の千田嘉博氏と大阪城天守閣館長による、大坂の陣について考える特別オンライン対談を実施した。

6. 情報発信、広報宣伝

大阪を代表する文化・観光施設にふさわしいテーマ展及びイベント等を実施するとともに、ホームページ(訪問者数 53 万件/年・ページビュー数 163 万件/年)・ポスター・チラシ・リーフレット(日本語、韓国語、中国繁体字、中国簡体字、英語の各言語別及び子ども向け)・マスメディア等をととして情報発信・広報宣伝を行った。

取材受入れは 72 件、大阪市を通じての報道発表は 12 件、観光雑誌等の刊行物への天守閣情報の掲載(写真提供および記事校正)は 152 件実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行喚起につながる積極的な広報を控える時流があり、取材件数をはじめ広報に関する件数は軒並み減少した。そのなかでも、臨時休館解除後の対応や展示等において、感染状況を見極めつつメリハリをつけた集客への取り組みを PR することで、例年に引けをとらない内容でメディア露出に繋げることができた。

コロナ禍における情報発信手段として、3 階 4 階のテーマ展・企画展示の企画担当学芸員による見どころ解説動画の公開を開始した。

7. 施設、設備の良好な維持管理

改札・案内・警備・清掃・昇降機の運転業務を業務委託により実施するとともに設備等の定期的な保守点検を実施し安全で快適な施設の維持管理に努めた。

また、以下の改修や設備更新を実施した。

- ・天守閣 中央監視装置の更新 (令和 2 年 2 月 10 日着工、5 月 31 日完成) … 改修費
- ・天守閣 2 階トイレ便器更新工事 (令和 2 年 6 月) … 改修費
- ・天守閣 1～3 号エレベータ・床タイル張替 (令和 2 年 6 月・9 月) … 修繕費
- ・天守閣 からくり太閤記 モニター 20 台交換工事 (令和 2 年 8 月) … 修繕費
- ・天守閣 学芸用 NAS (ネットワーク HDD) 導入 (令和 2 年 8 月) … 工具、器具及び備品
- ・天守閣 階段手摺修繕工事 (令和 2 年 9 月) … 修繕費
- ・天守閣 1 階売店エアコン修繕工事 (令和 2 年 9 月) … 修繕費
- ・天守閣 5 階倉庫内吸排気ファン更新工事 (令和 3 年 3 月) … 修繕費
- ・天守閣 2 階男性用トイレウォシュレット一体式便器交換工事 (令和 3 年 3 月) … 修繕費
- ・天守閣 4 階空気調機モーター交換工事 (令和 3 年 3 月) … 修繕費

[新型コロナウイルス対策]

- ・天守閣 体表温度測定カメラ(顔認識機能有) (令和 2 年 5 月) … 工具、器具及び備品※1
- ・天守閣 2 階 LAN 工事 [南・北会議室、応接室] (令和 2 年 8 月) … 改修費
- ・天守閣 展示室系統空調設備改修工事 (令和 2 年 12 月) … 改修費※1
- ・天守閣 館内ナノゾーンコート施工(除菌・抗菌コーティング) (令和 3 年 2 月) … 雑費※2
- ・天守閣 キャッシュレス券売及び入退場管理システム(令和 3 年 3 月) … 大阪市

※1：文化庁と大阪市の補助金交付有、※2：大阪市から全額補助

8. 大阪城天守閣売店（ミュージアムショップ）の運営

令和2年5月19日までの閉館、その後の入館者激減に、天守閣売店の売上も大きく影響を受けた。

コロナ禍以前の主要顧客は、訪日客(主に中国)であったため、外国人向けの商品が店頭を占めていたが、国内旅行客(特に女性)に手に取っていただけるような商品内容を充実させた。(大阪城オリジナルふきん、マスクケース、メモ、エコバッグ、オリジナルボールペン等)また、広報イベントとの連携企画として制作した「駆け上がれ！秀吉 切手+レターセット」を令和2年8月から、「大坂冬・夏の陣図屏風 切手+解説付き屏風」を令和2年9月から販売した。

ガシャポンについては、令和3年2月、新商品「光る大阪城」を投入したところ、従前からの商品を抜き一番人気となり、2か月間で576個を販売した。

令和2年10月から12月は「Go Toトラベル事業」に地域共通クーポン取扱店として参画。令和2年11月7日から「大阪城オンラインショップ」がスタートし、天守閣売店からは大阪城限定品等を出品している。売上は未だ少ないものの、令和2年11月から令和3年3月まで数点の売上を計上した。

その他、令和2年7月からレジ袋有料化が始まり、天守閣売店としては、バイオマス含有率25%のプラ袋(有料対象ではない)を用意しつつも、レジ袋削減の観点から、プラ袋、紙袋共に有料とした。

9. その他

(1) 特別な取り組みや対応

① 令和2年度の広報施策テーマ「秀吉」

令和2年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公が明智光秀であることから、光秀自身とともに、光秀が活躍した時代や光秀の周辺にいた人々にも大きな注目が集まることとなった。織田家中にあって光秀のライバルとして同じ時代を並走していた豊臣（羽柴）秀吉のゆかりの地として、「秀吉」を1年間の広報施策テーマとし、秀吉の生涯や人物像を紹介していく事業展開を行った。のぼりやポスターの掲出といった大掛かりな広報は実施しなかったものの、四季のイベントや展示などの定例行事をテーマにちなんだ内容で行い、定例行事以外にも様々な事業を実施した。

② 「赤絵」の配布（令和2年5月20日～令和2年12月27日）

新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館からの再開に合わせ、「赤絵」を1階インフォメーションカウンターに設置し、入館者に持ち帰っていただいた（希望者ひとり1枚）。江戸時代、災いや魔物を祓う効果があると考えられた赤色で魔除けの神などを描いた「赤絵」と呼ばれる版画が作られ、また幕末には虎の張り子などを作ってコレラ除けを祈願したという歴史を踏まえ、天守閣最上層外壁の伏虎を赤一色で印刷したオリジナルの「赤絵」

を、大阪城公園全体での配布用として 50,000 枚作成。コロナ禍にも関わらずお越しになった来館者への感謝と新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願う取り組みとして実施した。

③「大阪城ゆかりの地マップ」の増刷（令和 2 年 9 月）

大阪城に隣接するショッピングモール、もりのみやキューズモール BASE（大阪府中央区森ノ宮中央）の出稿により、2019 年に発行した「大阪城ゆかりの地マップ 1 大坂の陣編」・「大阪城ゆかりの地マップ 2 幕末・維新編」を増刷した。

④「大阪城天守閣のお誕生日（卒寿）」を記念して登閣証明書を配布

令和 2 年 11 月 7 日にお越しの先着 2,000 人の方に登閣証明書を配布した。

⑤長野県上田市への義援金

令和元年 10 月 12 日の台風 19 号により大きな被害を受けた長野県上田市（友好城郭上田城による誼）に対し、「真田六文銭義援金」と銘打った募金活動を 11 月 3 日より開始し、当年度の集金実績は、67,300 円であった。（上田市の当該口座への送金は、令和元年 11 月 21 日～令和 2 年 11 月 23 日の集金 93,328 円を 11 月 27 日に実施）令和 3 年 3 月 28 日に、千曲川橋梁が復旧し全線で開通できる見通しとなったことをうけて本年度で終了とする。令和 3 年 3 月 31 日までの累計集金は 126,493 円（令和 2 年 11 月 24 日以降の本年度集金残 1,912 円は、4 月 30 日送金予定。）

⑥ 中央消防職員の指導による「教養型消防訓練」の実施。

- ・令和 2 年 8 月実施、「消火器の使用方法」「煙からの避難方法」「119 番通報要領」に関する 3 本の動画を視聴し理解度チェックのための穴埋め問題の回答を提出する形式で実施。
- ・令和 3 年 1 月実施 中央消防の協力要請により、コロナ禍においても文化財防火の重要性を市民に再認識していただくことを目的として「文化財を守ろう～文化財防火デー広報動画配信！」への取材協力を行った。

⑦ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応（特記事項）

- ・営業再開後～館内ナノゾーンコート施工（除菌・抗菌コーティング）が完了するまでのアルコール消毒作業は、既存のスタッフにて分担し行い、中央階段手摺のみ追加の業務委託により実施した。
- ・検温所（兼連絡先提出所）の設置：この新規追加業務については、5 月 20 日から 5 月末はパークセンター職員の応援、6 月から 8 月までは第三者業務委託で対応したが、9 月以降は天守閣職員（券売・警備職）の配置替えと一時的入場者増加には他職応援で運営している。
- ・3 密を回避するため、入館・退館者をカウントし館内滞留者数を常時確認しながら入館受付業務を行った。

⑧ 開館延長

夏の開館延長 令和 2 年 8 月 1 日（土）～ 令和 2 年 8 月 16 日（日）（1 時間延長）、
令和 2 年 8 月 8 日（土）（2 時間延長）

（例年実施していた、年度始めの桜開花時期及びゴールデンウィークは休館中であり、年度

末の桜開花時期の開館延長は、新型コロナウイルス感染症拡大を懸念し未実施)

(2) 来館者サービスの向上

- ① 身体障がい者や高齢者等社会的弱者など、さまざまな人々がより安全に利用できるよう、設備等の定期的な保守点検を実施し安全で快適な施設の維持管理に努めた。
- ② 1階、5階インフォメーションで貸し出している4ヶ国語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応の音声ガイドは、2020年2月29日天守閣閉館以降サービスを休止していたが、アルコール消毒による新型コロナウイルス感染予防対策をおこないながら7月22日「夏の展示」開催に合わせて貸出を再開した。また、イヤホンの使用をためらうお客様が多いことから10月22日より音声ガイド機をスピーカー対応とし、イヤホンなしでも利用できるように変更した。（集中してガイドを聞きたい方のため、ご希望の方にはイヤホンの貸出を継続しておこなっている。）
- ③ リーフレット内の地図情報等の更新、文化財展示解説など201点の外国語表記や館内放送の多言語化に取り組み、館内案内の充実を図った。
- ④ 入館者の増加（混雑）対策及び観覧者マナーの改善策
館内の混雑や観覧マナーの乱れによる不快感への対策として、券売所や階段・エレベータへの誘導員、館内巡視員を入館者の減少に合わせて、新設した検温所等への配置変更や休業体制へ変更、また2階試着体験コーナーの休止にともない試着・写真撮影スタッフを減員するなどコロナ禍の状況に合わせた人員体制をとりながら、快適で安全な観覧環境の確保に努めた。
- ⑤ 職員を対象とした人権研修を実施した。
令和3年2月、新型コロナウイルス（COVID-19）拡大防止措置として3密を避けて、集会せず個々で、様々な境遇の違い（生活環境、性別、年齢、考え方など）があるが、その違いを想像し、理解し、助け合う、受け入れる、工夫するなどを考える内容のDVDを視聴後レポート提出で実施。
- ⑥ 個人情報の開示・訂正・利用停止などの手続き専用ダイヤルの継続、および周知文書「お客さまの個人情報のお取り扱いについて」の館内4箇所への設置を継続。（改札・インフォメーション・1Fミュージアムショップ・2F東事務所）
- ⑦ 夏季の避暑対策として改札から天守閣内への階段通路にドライ型ミストを設置（令和2年7月1日～9月30日）。
- ⑧ iPadを利用したリアルタイム映像通訳サービス「みえる翻訳」（英語・中国語・韓国語・タイ語・ロシア語・日本語の手話通訳対応）を継続。
- ⑨ 落とし物、迷子等のご案内の際の多言語対応として、平成31年度より正式導入したタブレット端末を用いて多言語対応の定型文を使用した館内放送アプリの活用を継続。
- ⑩ チームコミュニケーションツール「slack」の活用により公園内施設との情報の共有化を図り、利用者への案内や問い合わせ（拾得物や迷い子等）対応の充実を図った。

(3) 利用者満足度の把握・利用促進策

① 満足度調査の実施

大阪城天守閣入館者を対象に団体客・個人客の発地や大阪城の認知度、情報源、満足度などの来場者調査を実施

② 苦情への対応等

各担当で受けた苦情や要望等をメールや連絡会議等を通じ常に情報共有し、改善に役立てた。

③ 施設利用促進への反映

大阪のシンボルである大阪城天守閣に、国内外から利用促進・誘致宣伝策として、次の事業を行った。

- ・大阪城公園で開催されるイベントとの連携
- ・季節に応じた自主事業によるイベント開催
- ・ネットを利用したチケット販売は、令和元年10月の開始より海外の代理店を通じて利用者を伸ばしていたが、新型コロナウイルス感染症の世界的感染爆発（パンデミック）を引き起こしたことによる渡航制限等の措置が取られたため一時的に利用者が減少するも、新型コロナウイルス感染症拡大防止策としてホームページ等で案内を行ったにより、国内の利用者（直販）が増加した。〔入館数 2,086 人〕
- ・大阪市高速電気軌道(株) (Osaka Metro)、西日本旅客鉄道(株)、京阪電気鉄道(株)、大阪水上バス等交通機関との連携による入場割引、企画チケットの取扱い実施
- ・旅行会社等との観光券やクーポンの取り扱い契約やオプションサービス企画への参画による集客促進
- ・大阪城天守閣開催事業のプレスリリースや大阪市・区ほか関係団体の情報発信媒体、観光雑誌等への情報提供、交通機関等と連携した広報・宣伝
- ・ホームページの随時更新によるイベント・展示等の情報発信
- ・諸団体実施の内外へのプロモーションへの参加や提携
- ・大阪周遊パス、西日本旅客鉄道(株)が企画する「JR-WEST RAIL PASS」、京阪電気鉄道(株)が企画する「KYOTO-OSAKA SIGHTSEEING PASS」への参画等によるインバウンド誘致〔大阪周遊パスの入館者 3,363 人（前年比 99%減）〕
- ・中華民国(台湾)僑務委員会の発行する僑胞（チャオバオ）カード提示割引の開始

(4) 自主事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため大阪府下に緊急事態宣言が出されたことから、令和2年2月29日から5月19日まで臨時休館となった。そのため毎年ゴールデンウィーク中に行っていた大阪城ファミリーフェスティバルは開催を見合わせた。

夏以降のイベントについては、徐々に来館者を増やすべく、感染防止対策をとったうえで開催した。

① 季節ごとの集客イベント

a. 「豊国踊りと河内音頭～出世双六太閤記」

(令和2年8月8日) 参加者：約320人

豊国踊り実演〔宝塚歌劇団 OG・OSK 日本歌劇団 OG、協力：大阪市日本民謡研究会〕河内音頭「出世双六太閤記」より「豊臣秀吉里帰り」〔天龍小若丸〕

b. 「大阪城・長浜城姉妹城連携事業 駆け上がれ！秀吉～大阪城の秋まつり 2020～」

(令和2年11月21日～11月23日 参加者：2日間合計 約3,500人)

国指定重要無形民俗文化財 伊勢大神楽〔伊勢大神楽講社 山本勘太夫社中〕 長浜曳山祭三番叟〔公益財団法人長浜曳山文化協会〕 立体講談「秀吉、信長より長浜城を賜る」〔玉田玉秀斎、桜花昇ぼる(元 OSK 日本歌劇団 トップスター)、芸能集団東西屋〕 火縄銃演武〔国友鉄砲研究会〕 国指定重要無形民俗文化財 幸若舞〔幸若舞保存会〕 鍛冶屋太閤踊り〔鍛冶屋太閤踊り保存会〕

c. 「疫病退散～ちょろけんと大神楽～」

(令和3年1月2日～1月31日) 期間中の年賀状配布：約1,700人

スマートフォンでちょろけんが写り込んだ写真を撮ることができる二次元バーコードが掲載された「ちょろけん年賀状」の配布(10,000枚準備)。 ※当初は1月2日・1月3日の2日間にちょろけん登場と大神楽の披露を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、大阪府から不要不急の外出自粛が要請されたため、イベントの内容を変更した。

② 令和2年度の広報施策テーマ「豊臣秀吉」に関連するイベント

a. 「駆け上がれ！秀吉～光秀の好敵手 若き秀吉ゆかりの地スタンプラリー～」

(令和2年2月6日～令和3年5月31日)

愛知・岐阜・滋賀・福井・兵庫・鳥取・岡山・京都にある、若き秀吉ゆかりの地に大阪城を加えた14カ所の地域を巡るスタンプラリー

スタンプ14個中10個押印でオリジナルピンバッジをプレゼント

令和2年度の広報施策テーマに合わせ令和元年度中に開始した。当初は令和3年2月5日までの予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により参加施設の多くに臨時休館期間が発生し、スタンプラリー参加者から期間延長の希望が寄せられたことから、令和3年5月31日までに期間を延長している。

③ 観光 PR 出展

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、遠方のイベントや大規模イベントへの出展は叶わなかったが、以下の PR 出展を行った。

a. 「尼崎市立歴史博物館オープン」【兵庫県尼崎市】

(令和2年10月10日)

「大阪・尼崎・岸和田 三城同盟 参城キャンペーン」の一環としてブース出展し、博物館前の広場で広報物配布と物販による PR を実施した。

配布物：大阪城天守閣リーフレット、大阪城公園総合ガイド、テーマ展チラシ、大阪城ゆかりの地マップ1・2、大阪城の葉、もりのみやキューズモール BASE 主催大阪城

エリアのスタンプラリーチラシ（191組配布）

物販：大阪城消しゴム、冬の陣・夏の陣図屏風切手＋屏風セット、図録など（売上 11 千円/税込）

b. 「太閤秀吉まつり～生誕地中村で豊国踊り～」【愛知県名古屋市】

（令和3年2月6日）

豊臣秀吉の生誕地として知られる名古屋市中村区の主催イベントに学芸員が出講等協力。豊臣秀吉ゆかりの地として、広報物配布による PR を実施した。 ※当初はブース出展をする予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン配信となり、来場者（イベント関係者）に広報物を配布する方法に変更した。

配布物：ちょろけん年賀状、大阪・尼崎・岸和田三城同盟 参城キャンペーンチラシ、オンラインショップチラシ、若き秀吉ゆかりの地マップスタンプラリー台紙、太閤なにわの夢募金チラシ（200組配布）

④ 2階 兜・陣羽織・小袖の試着体験と記念スタンプ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため休止した2階試着体験スペースを、記念スタンプコーナーに転用し、ソーシャルディスタンスマークの貼付やアルコール消毒薬の設置などの感染拡大防止対策を確保した記念スタンプサービスを提供した。

⑤ 大阪城天守閣、ミュージアムショップを JO-TERRACE OSAKA オフィシャルショップとともに、Go To トラベル事業（観光庁）の地域共通クーポンの取扱い店に登録申請し、令和2年10月1日より取扱いを開始した。新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年12月29日に取扱いが休止となり現在に至る。

〔天守閣入場券：3,757枚 / ミュージアムショップお買物券付き入場券 177枚〕

〔地域共通クーポン受領：天守閣 2,022枚 / ミュージアムショップ 1,099枚〕

⑥ 大阪府「大阪の人・関西の人 いらっしゃい！」キャンペーン（大阪府・大阪市）へ参画
〔天守閣入場者：124人〕

⑦ Go To イベント事業（経済産業省）の主催者申請および、イベント登録申請を行い、Go To イベントの対象となるチケットのネット利用による販売を行う準備を進めていたものの、販売開始直前の令和3年1月7日の緊急事態宣言を受け1月12日以降・フィジカルに開催されるイベントについて、全国一斉にGo To イベント対象チケットの新規販売の停止措置が継続され現在に至る。

⑧ 各種施策の活用（大阪市施策除く）

- ・雇用調整助成金 / 厚生労働省（令和2年4月～）
- ・博物館 感染症防止対策事業の補助金（感染防止事業）/文化庁
- ・博物館 感染症防止対策事業の補助金（空調設備の改修事業）/文化庁
- ・持続化給付金 中小企業庁（経済産業省）
- ・一時支援金_緊急事態宣言の影響緩和 中小企業庁（経済産業省）

以上

大阪城天守閣利用料収入年報(2020年度)

グループ	項目	員数(人)
一般入場券	一般(券売機)@600	155,533
	一般(窓口)@600	98
	一般団体(15～)@540	476
	一般団体(100～)@510	150
	一般団体(200～)@480	0
	高校生団体(15～)@480	135
	高校生団体(100～)@450	300
	小計	156,692
クーポン	一般クーポン@600	49
	団体クーポン(15～)@540	38
	団体クーポン(100～)@510	101
	団体クーポン(200～)@480	0
	高校生クーポン(15～)@480	314
	高校生クーポン(100～)@450	1,535
	500,ホテルクーポン	105
	540,サンライズツアー	0
	600,GOTO地域共通券 入場	3,757
	540,関西のいっしょにキャンペーン	124
	600,旅行会社が企画するオプションチケット	286
	600,ネットを利用し販売したチケット	2,086
	600,前売招待券(虎)	5
	小計	8,400
割引入場券	540 大阪メトロ 割引 / 大阪市高速電気軌道線	3,210
	540 スルッとKANSAI 2Day・3Day	49
	540 JR WEST Pass / 西日本旅客鉄道線	3
	540 京阪割引 / 京阪電鉄	27
	540 大阪検定 / 大阪商工会議所	9
	510 長浜城連携割引 / 長浜市長浜城歴史博物館 (R2.3.20～R2.5.10)	4
	540 大阪市・堺市の連携による魅力発信事業割引 (R2.10.10～R2.11.29)	5
	540,僑胞(チャオバオ)カード割引 / 中華民国僑務委員会 (R3.1.8～R3.3.31)	0
	540,山陽・九州新幹線割引 / 西日本旅客鉄道線 (R3.2.1～R3.9.30)	11
	540 WEST EXPRESS 銀河割引 / 西日本旅客鉄道線 (R3.3.26～R3.6.30)	0
	小計	3,318
セット券	水上バス(窓口販売)	0
	水上バス(バス販売)	0
	歴博セット券(天守閣販売)	1,016
	歴博セット券(歴博販売等)	2,388
	櫓セット券(天守閣販売)	912
	櫓セット券(櫓販売等)	1,770
	旅行会社が企画する 入場券・ミュージアムショップお買物券セット @1800	10
	GOTO地域共通券 入場券・ミュージアムショップお買物券セット @1000	177
	小計	6,273
バス入場券	周遊バス(一日券)	2,238
	周遊バス(二日券)	1,125
	キャンパスメンバーズ	680
	小計	4,043
小人無料入場	無料小人	37,978
	無料学校団体	7,302
	小計	45,280
一般無料入場	身障者・介護者	8,914
	敬老カード	7,215
	優待等	759
	下見	323
	なにわの夢基金	13
	小計	17,224
有 料 合 計		178,726
無 料 合 計		62,504
総 合 計		241,230

■2020.02.28～2020.05.19 臨時休館(コロナウイルス感染症拡大防止)

大阪城天守閣 月別入場者数(前年対比)

年度	当事業年度 平成31年度(2019)			前事業年度 平成30年度(2018)			前事業年度比(増減数及び増減率)			
区分	有料人数	無料人数	合計	有料人数	無料人数	合計	有料人数	無料人数	合計	率
4月	臨時休館～ 5/20			222,366	35,697	258,063	-222,366	-35,697	-258,063	-100.0%
5月				202,001	44,485	246,486	-198,176	-42,298	-240,474	-97.6%
	3,825	2,187	6,012							
6月	9,232	2,802	12,034	175,844	22,441	198,285	-166,612	-19,639	-186,251	-93.9%
7月	10,618	2,570	13,188	194,422	29,876	224,298	-183,804	-27,306	-211,110	-94.1%
8月	12,013	3,696	15,709	186,651	39,129	225,780	-174,638	-35,433	-210,071	-93.0%
9月	18,654	6,664	25,318	158,457	16,703	175,160	-139,803	-10,039	-149,842	-85.5%
10月	24,295	9,262	33,557	172,674	38,360	211,034	-148,379	-29,098	-177,477	-84.1%
11月	36,712	13,325	50,037	185,969	28,192	214,161	-149,257	-14,867	-164,124	-76.6%
12月	8,065	2,189	10,254	131,572	17,402	148,974	-123,507	-15,213	-138,720	-93.1%
1月	7,251	2,937	10,188	153,031	22,488	175,519	-145,780	-19,551	-165,331	-94.2%
2月	14,551	5,450	20,001	93,813	10,277	104,090	-79,262	-4,827	-84,089	-80.8%
3月	33,510	11,422	44,932	2/29 ～ 臨時休館			33,510	11,422	44,932	-
合計	178,726	62,504	241,230	1,876,800	305,050	2,181,850	-1,698,074	-242,546	-1,940,620	-88.9%

大阪城天守閣 月別入場者数歴年表(平成27～令和2年度)

年 度	平成23年度(2011)			平成24年度(2012)			平成25年度(2013)			平成26年度(2014)			平成27年度(2015)			令和2年度(2020)		
	有料人数	無料人数	合 計	有料人数	無料人数	合 計	有料人数	無料人数	合 計	有料人数	無料人数	合 計	有料人数	無料人数	合 計	有料人数	無料人数	合 計
4月	171,643	31,686	203,243	202,562	34,186	236,748	222,172	36,567	258,739	236,617	32,008	268,625	222,366	35,687	258,053	—	—	—
5月	163,280	47,252	210,532	176,124	43,828	219,952	206,466	43,262	249,728	206,303	43,260	250,153	202,001	44,485	246,486	3,825	2,187	6,012
6月	128,166	18,222	146,388	157,869	26,847	174,716	176,338	23,828	199,366	169,118	21,607	190,723	175,844	22,441	198,285	9,232	2,802	12,034
7月	156,632	23,862	174,694	186,547	27,204	211,751	201,071	27,218	228,289	176,722	24,668	200,390	194,422	29,876	224,298	10,618	2,070	12,688
8月	194,279	43,543	237,822	213,577	47,724	261,301	224,674	47,587	272,181	204,818	39,846	244,661	186,661	38,128	225,180	12,813	3,896	16,709
9月	253,690	21,738	275,418	167,891	17,827	185,718	174,168	18,267	192,835	127,859	16,228	144,078	158,457	14,783	173,140	18,654	6,664	25,318
10月	176,210	40,510	216,720	193,480	36,798	230,238	202,083	35,867	237,950	198,856	36,518	234,374	172,674	38,360	211,034	24,296	9,282	33,567
11月	161,887	27,613	189,500	183,321	36,259	213,580	206,234	31,738	237,973	192,373	29,838	222,211	185,969	28,192	214,161	36,712	13,305	50,017
12月	139,682	16,712	156,494	150,583	22,525	173,108	178,367	21,582	199,949	169,949	20,282	170,231	131,572	17,482	148,974	8,985	2,189	11,174
1月	167,818	23,485	191,303	177,713	26,874	204,587	189,087	24,888	213,975	167,875	22,790	190,665	153,031	22,488	175,519	7,261	2,907	10,168
2月	178,208	22,655	200,863	180,335	26,673	207,009	194,021	22,688	216,629	167,687	26,107	193,794	93,813	18,277	112,090	14,551	5,450	20,001
3月	189,228	36,648	224,876	206,731	34,756	240,486	221,813	38,137	260,950	208,945	31,608	238,553	—	—	—	33,518	11,422	44,940
合 計	1,886,013	352,860	2,237,813	2,193,794	263,900	2,457,694	2,383,125	271,278	2,654,403	2,203,789	246,349	2,450,138	1,876,800	205,858	2,082,658	178,726	62,594	241,320

大阪城天守閣 年度別入館者数

年 度	入館会数	率 計	備 考	年 度	入館会数	率 計	備 考	年 度	入館会数	率 計	備 考
1 昭和6年度	802,882	802,882		31 昭和36年度	1,807,722	24,706,239		61 平成3年度	1,214,340	69,048,359	6500万人達成
2 昭和7年度	907,474	1,710,356		32 昭和37年度	1,808,220	26,616,459		62 平成4年度	1,341,014	67,399,373	
3 昭和8年度	800,643	2,511,209		33 昭和38年度	1,849,827	28,566,386		63 平成5年度	1,279,249	68,668,622	
4 昭和9年度	822,860	3,334,169		34 昭和39年度	1,953,681	30,520,067		64 平成6年度	1,048,465	69,717,087	
5 昭和10年度	752,312	4,086,481		35 昭和40年度	1,889,470	32,559,537		65 平成7年度	945,260	70,662,485	7000万人達成
6 昭和11年度	764,200	4,850,681		36 昭和41年度	1,834,472	34,344,009		66 平成8年度	81,026	70,702,511	一部休館
7 昭和12年度	711,669	5,562,350		37 昭和42年度	1,514,076	35,858,085		67 平成9年度	1,534,539	72,237,050	平成の大改修完成
8 昭和13年度	788,900	6,349,250		38 昭和43年度	1,360,108	37,018,193		68 平成10年度	1,075,259	73,312,909	
9 昭和14年度	935,426	7,284,676		39 昭和44年度	1,275,852	38,294,145		69 平成11年度	1,028,044	74,339,953	
10 昭和15年度	832,720	8,217,396		40 昭和45年度	1,667,770	39,961,915	大改万博	70 平成12年度	984,084	75,333,947	7500万人達成
11 昭和16年度	652,288	8,869,784		41 昭和46年度	1,194,363	41,156,878	4000万人達成	71 平成13年度	1,173,580	76,506,627	天守閣復元・70周年
12 昭和17年度	298,652	9,075,436	3/29 - 休館	42 昭和47年度	1,288,435	42,395,311		72 平成14年度	1,127,879	77,634,506	
13 昭和18年度	休館	休館		43 昭和48年度	1,142,542	43,627,855		73 平成15年度	1,066,023	78,730,429	
14 昭和19年度	休館	休館		44 昭和49年度	1,140,144	44,569,009		74 平成16年度	1,134,776	79,895,205	
15 昭和20年度	休館	休館		45 昭和50年度	1,222,111	45,690,210	4500万人達成	75 平成17年度	1,062,792	80,927,987	8000万人達成
16 昭和21年度	休館	休館		46 昭和51年度	1,074,561	46,764,772		76 平成18年度	1,251,577	82,179,574	
17 昭和22年度	休館	休館		47 昭和52年度	1,060,550	47,835,274		77 平成19年度	1,360,595	83,569,169	
18 昭和23年度	休館	休館		48 昭和53年度	1,073,338	48,806,611		78 平成20年度	1,298,756	84,899,325	
19 昭和24年度	178,871	9,282,307	~7/19 休館	49 昭和54年度	980,048	49,886,659	一部休館	79 平成21年度	1,247,691	86,106,886	
20 昭和25年度	375,060	9,627,267		50 昭和55年度	1,189,893	51,086,349	5000万人達成	80 平成22年度	1,368,058	87,475,044	
21 昭和26年度	699,158	10,256,525		51 昭和56年度	1,384,610	52,470,959		81 平成23年度	1,407,568	88,882,442	
22 昭和27年度	623,779	10,880,304		52 昭和57年度	1,267,012	53,737,971		82 平成24年度	1,512,081	90,394,523	9000万人達成
23 昭和28年度	1,005,541	11,885,845		53 昭和58年度	1,214,790	55,862,761	堺城400周祭	83 平成25年度	1,558,338	91,949,861	
24 昭和29年度	1,250,230	13,136,175		54 昭和59年度	1,267,968	57,130,729		84 平成26年度	1,838,264	93,788,215	大改修工事 400年
25 昭和30年度	1,463,522	14,599,297		55 昭和60年度	1,250,725	58,400,860		85 平成27年度	2,327,613	96,126,022	大改修工事 400年
26 昭和31年度	1,479,167	16,078,464		56 昭和61年度	1,239,189	59,639,999		86 平成28年度	2,557,294	98,683,322	2019年10月31日閉館
27 昭和32年度	1,525,087	17,603,551		57 昭和62年度	1,214,293	60,854,253	6000万人達成	87 平成29年度	2,354,395	1,01,437,817	19年休館、堺市・東区・西成区13区
28 昭和33年度	1,650,806	19,254,357		58 昭和63年度	1,250,225	62,104,376		88 平成30年度	2,550,056	1,03,987,875	
29 昭和34年度	1,761,457	21,015,814		59 平成元年度	1,253,292	63,364,671		89 平成31年度	2,618,261	1,06,565,725	2/29 - 臨時休館
30 昭和35年度	1,784,708	22,800,517		60 平成2年度	1,379,548	64,734,019		90 令和初年度	761,230	1,08,410,658	臨時休館 - 8/19

年度最高入境者數	102,574,260
年度平均入境者數	1,315,055

(有效率 28%)

下腔の体腔膜の包囲

昭和17年3月25日付

昭和55年1月16日から3月15日まで休編

平成25年4月7日から平成25年5月25日まで開催

令和元年2月29日～当面の間、臨時休館【コロナウィルス感染拡大防止対策】

5. 駐車場にかかる事業報告書

令和2年度も引き続き城南バス駐車場及び大阪城公園駅前普通車駐車場、森ノ宮普通車駐車場の運営を行ってまいりました。新型コロナウイルスにより海外観光客や国内団体旅行が激減した他、緊急事態宣言による駐車場閉鎖もあり、4～5月の城南バス駐車場利用台数は事業開始以来最低となりました。6月からは城南バス第二駐車場を普通車に転用した結果、利用数の回復が見られましたが単価が低い為、年間売上は前年の1/10になりました。普通車駐車場もコロナの影響により利用数減となりましたが、9月以降はGo To トラベルをはじめ個人の観光や地域住民の利用が活発になった事から平年を少し下回る程度にとどまりました。2月以降はコロナの影響から1年経つ事もあり前年比を上回る結果が出ております。

令和2年度駐車場利用状況

(消費税別)

	森ノ宮普通車駐車場		大阪城公園駅前普通車駐車場		城南バス駐車場	
	台数	金額(千円)	台数	金額(千円)	台数	金額(千円)
4月	8,807	4,818	3,975	2,307	1,249	699
5月	5,910	3,531	2,913	1,697	20	31
6月	5,357	3,247	3,481	2,327	1,009	723
7月	4,652	2,707	3,505	2,504	1,165	865
8月	5,731	3,342	4,170	2,965	1,526	1,185
9月	7,064	4,695	6,227	4,742	1,951	1,734
10月	7,286	5,089	5,578	4,446	2,549	2,836
11月	8,524	5,921	7,468	6,237	3,034	3,548
12月	7,306	4,647	4,201	2,968	2,396	1,980
1月	6,952	4,214	4,660	3,172	2,368	1,414
2月	8,507	5,573	8,227	5,947	3,185	2,147
3月	11,594	7,599	9,442	7,239	5,399	4,160
合 計	87,690	55,383	63,847	46,551	25,851	21,322

課題等

新型コロナウイルス感染拡大の影響による観光客の激減が顕著に表れており、バス駐車場の稼働はほとんど無くなってしまっております。一方で感染予防の観点から来園の際は自家用車をご利用される方が増え、普通車に関しては一定数の利用があることから、城南バス第2駐車場を臨時の普通車駐車場として活用し多くの利用をいただくことができおり、団体観光客の来園が見込まれるまでの間は来園者の利便性や運営の合理性の観点から、引き続き同様の対応を行いたいと思います。

6.大阪城音楽堂 令和2年度の報告書

大阪城音楽堂は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に翻弄された1年となりました。4月7日、全国に緊急事態宣言が発出され、同月9日から5月6日まで休館となりました。その後緊急事態宣言が延長されたため、休館も引き続き延長となり、ようやく6月19日に再開しました。休館中は多くのイベントがキャンセルとなりましたが、利用料を返還する対応を取りました。

再開時に向けて、国や大阪府、大阪市の指針に準拠する感染対策を盛り込んだ音楽堂のガイドラインを作成しました。再開当初は、客席に観客を入れることには主催者側も慎重で、無観客での配信に切り替える事も多く、客席に観客を入れたコンサートが行われたのは、7月18日でした。ネットを使った配信により、同年2月から運用を始めた光回線の利用が顕著になりました。

観客を入れたコンサートは徐々に増えていきますが、収容率が50パーセント以下の状態でコンサートを実施した場合、事業収支は極めて悪く、コンサート活動を継続するために配信などを試みますが、依然改善は望めませんでした。そのため、大阪城パークマネジメントの独自の事業として、音楽事業者に対して利用時にガイドラインを守り、感染対策に役立つ告知を発信するという条件で、音楽堂利用時の「付帯設備使用料」を減額するという「エール・フォー・ミュージック」という制度を立ち上げ、光回線の利用料も免除しました（令和3年2月末まで実施）。

夏から冬にかけては、年度前半で延期したコンサートや屋内から野外に切り替えた音楽事業者、野外の映画上映会など、換気の必要がない「屋外」ということが幸いし、例年になく多くの利用者に音楽堂を利用してもらうことができました。

令和3年1月14日、再び大阪府に緊急事態宣言が発出され、音楽堂の供用時間を20時までとした利用を3月3日まで実施しました。

	音楽堂利用 回数（準備・ 撤収含む）	音楽堂 利用コマ数	リハーサル 室利用回数 （音楽堂利用 者含む）	リハーサル 室利用コマ 数	音楽堂来場 者数
令和2年4月	0回	0コマ	1回	1コマ	0人
5月	0回	0コマ	0回	0コマ	0人
6月	0回	0コマ	0回	0コマ	0人
7月	5回	10コマ	5回	10コマ	1,366人
8月	10回	20コマ	9回	18コマ	1,659人
9月	11回	21コマ	11回	21コマ	7,164人
10月	12回	23コマ	9回	18コマ	7,441人
11月	15回	28コマ	9回	17コマ	4,126人
12月	7回	12コマ	4回	8コマ	180人
令和3年1月	0回	0コマ	0回	0コマ	0人

2 月	2 回	3 コマ	1 回	2 コマ	166 人
3 月	8 回	14 コマ	5 回	10 コマ	1,213 人
合 計	70 回	131 コマ	54 回	105 コマ	23,315 人

*利用コマ数は、日中 1 コマ、夜間 1 コマとし、同じ団体が終日利用した場合、2 コマとして計算しています。

音楽堂の利用促進と設備の補修や利用条件の整備

今年度は、コロナ禍で「音楽堂を利用できる」安全、安心にコンサートが実施できる環境づくりが課題となりました。いわゆる、音楽堂から新型コロナウイルスのクラスターを出さないための施策を次のとおり実施しました。

- 1) クラスター、感染者を出さないガイドラインの作成
- 2) 音楽堂スタッフの健康管理の徹底
- 3) 検温器、除菌スプレー、楽屋などへのサーキュレーター、客席用トイレにハンドソープの設置などの感染対策
- 4) 利用者への負担の軽減
- 5) 配信時のハードの整備
- 6) 音楽事業者からのヒアリング

コロナウイルス感染拡大は未だ収束していない状況が続いており、クラスターを出さない努力を継続的に取り組みます。一方、コロナウイルス感染拡大が収束に向かった際には、ガイドラインの更なる検討が必要と考えています。

7. 大阪城西の丸庭園、迎賓館、豊松庵にかかる事業報告書

大阪城西の丸庭園は大阪城公園の中でも歴史文化財を有する整備された有料庭園として、また市民の憩いの場として、今年度も数多くの市民の方にご利用いただきました。まだ西の丸庭園を訪れたことの無い方に来園していただく為、数多くの魅力向上事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、令和2年度は休園で幕を開けました。ご来場者数は下記の通りです。また、大阪迎賓館は、平成28年5月から予約専用のレストランとして事業を開始、G20効果で認知度も高まり西の丸庭園の新たな魅力となりました。豊松庵の活用に関しては大阪迎賓館利用者にお茶会をご案内し、利用者の拡大につながりました。しかしながら、大阪迎賓館、豊松庵とも2月からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、4月の緊急事態宣言発令が決定打となって利用の延期、キャンセルをお願いする事態となり、宣言が明けてからも、人数制限等により、本来の姿には戻っておりません。

尚、西の丸庭園は、入口に消毒液を設置、手指の消毒をお願いしたうえ、三密をさけるよう説明パネルも入口に設置いたしました。また、桜のお花見時期には、シートを敷いての飲食はご遠慮頂くよう案内しました。

課題と対応

観桜ナイター等イベント開催時以外の西の丸庭園来園者数増加に向けた魅力づくりの為、花畑井戸の整備に着手、準備中です。大阪迎賓館については、利用者からご要望のある少人数会合に対応する為、令和元年度に黄金の茶室レプリカの展示を終了し、西の丸庭園開園中の無料休憩所利用と並行しての部屋の活用に変更。まだ事例は少ないですが、令和2年1月の吉村知事、松井市長と在阪外国領事館との会合では終了後の立食会場に。今後は単独の利用も検討します。また、宴席での茶会利用などで豊松庵についても活用は増えておりますが、平日を含めた利用促進のための施策についても引き続き検討してまいりたいと思います。

また、大阪迎賓館においては令和元年12月2日のランチをご利用したお客様の中からカンピロバクター菌による食中毒が発生いたしました。これを受けて当事業体では再発防止のため、飲食にかかわる全テナントを対象に衛生検査を実施いたしました。今後も引き続き衛生検査の結果を踏まえた教育等を実施していきます。

月		西の丸庭園	豊松庵
令和 2年	4月	4,591人	1件
	5月	867人	0件
	6月	1,915人	1件
	7月	1,792人	1件

	8 月	2, 267 人	3 件
	9 月	3, 657 人	12 件
	10 月	5, 218 人	8 件
	11 月	7, 647 人	12 件
	12 月	1, 492 人	8 件
令和 3 年	1 月	703 人	3 件
	2 月	2, 307 人	8 件
	3 月	14, 200 人	9 件
合計		46, 656 人	66 件

令和 2 年度実施 西の丸庭園 集客事業

※PMO 主催事業

・謎解きゲーム (第 7 弾: 明智光秀の危機)	10 月 31 日～3 月 19 日	1,406 人	
・櫓特別(西の丸振替分)	4 月 1 日～10 月 11 日 (土日祝公開)	5,057 人	※緊急事態宣言休業有り
・大阪城イルミネーション	11 月 27 日～3 月 7 日	31,445 人	

※迎賓館利用者

見学・打合せ入園含む	4 月 1 日～3 月 31 日	5,789 人	
------------	------------------	---------	--

令和２年度大阪城西の丸庭園、豊松庵、迎賓館、収入

項目	区分		積算内訳		合計金額	
					税込	税抜
西の丸庭園 運営事業	入園料 収入	・一般(有料)	18,374 人		3,664 千円	3,331 千円
		・一般(電子チケット/アソビュー)	72 人		14 千円	13 千円
		・一般(周遊パス)	633 人		130 千円	118 千円
		・企画イベント(有料)	5,284 人		1,056 千円	960 千円
		・企画イベント(周遊パス)	286 人		26 千円	24 千円
		・迎賓館利用者収入	5,789 人		1,085 千円	986 千円
		合計	30,438 人		5,978 千円	5,435 千円
	西の丸運営事業 合計				5,978 千円	5,435 千円
豊松庵	使用料(空調使用料含む)		66 件	2,073 千円	1,884 千円	
大阪迎賓館	使用料※施設整備協力金含む		242 件 4,995 人	31,653 千円	28,775 千円	
合計					39,705 千円	36,095 千円

※無料入園者数 16, 218 人

令和２年度大阪迎賓館売上げ実績

月		件数	人数	売上(税抜)
令和２年	４月	５件	78 人	5,778,605 円
	５月	６件	37 人	440,854 円
	６月	21 件	245 人	4,263,736 円
	７月	31 件	455 人	5,652,582 円
	８月	30 件	493 人	9,205,908 円
	９月	31 件	674 人	36,865,865 円
	10 月	17 件	493 人	38,772,153 円
	11 月	28 件	930 人	64,858,687 円
	12 月	24 件	525 人	34,001,375 円
令和３年	１月	11 件	108 人	2,510,357 円
	２月	16 件	329 人	28,226,794 円
	３月	22 件	628 人	41,467,138 円
合計		242 件	4,995 人	272,044,054 円

8. 大阪城野球場 令和2年度の報告書

大阪城野球場は、新型コロナによる供用中止はありましたが令和2年度も多くのご利用をいただきました。

(別紙参照)

予約窓口業務

大阪市が運営する会員制の施設予約システム(オーパスシステム)上で利用予約と、料金の支払いが完結しますが、会員でなくても大阪市に在住、在勤、在学の方は利用可能であり、その人たち向けの窓口業務を行っています。令和2年度は、一般利用件数(707件)のうち、窓口直接受け付けは(204件)で、およそ29%となっています。

使用状況の確認と維持

新型コロナによる供用中止期間は、4月8日から5月19日まで。コロナを理由にするキャンセルも相次ぎましたが、特に目立った苦情・要望などはありませんでした。

課題等

要望では、「塁ベース」や「ライン引き」設備の要望が増えてきましたが、野球以外での利用等で来園者の要望に応じた活用ができるかについても引き続き検討したいと思います。

＜過去の利用状況との比較＞

	令和元年度			令和２年度		
	一般利用	整備・工事	小計	一般利用	整備・工事	小計
4月	66 件	48 件	114 件	11 件	0 件	11 件
5月	109 件	10 件	119 件	21 件	5 件	26 件
6月	145 件	0 件	145 件	59 件	3 件	62 件
7月	82 件	34 件	116 件	54 件	8 件	62 件
8月	103 件	0 件	103 件	82 件	12 件	94 件
9月	117 件	0 件	117 件	100 件	0 件	100 件
10月	67 件	0 件	67 件	56 件	5 件	61 件
11月	89 件	0 件	89 件	69 件	0 件	69 件
12月	54 件	0 件	54 件	63 件	0 件	63 件
1月	22 件	4 件	26 件	48 件	0 件	48 件
2月	47 件	0 件	47 件	59 件	0 件	59 件
3月	47 件	3 件	50 件	85 件	0 件	85 件
合計	948 件	99 件	1047 件	707 件	33 件	740 件

* オープスシステムサーバのデータでは、同じグループの連続使用が判別できない為、利用数は利用コマ数となっています。

9. JO-TERRACE OSAKA にかかる事業報告書

大阪城公園駅前エリアの事業は、飲食店舗 16 店舗 物販店舗 3 店舗 ランナーサポート施設 1 店舗 レストラン・ブライダル施設 1 店舗 合計 22 店舗が営業しました。(令和 3 年 3 月末現在)
また、JR 大阪城公園の駅より施設へ直結するペデストリアンデッキや、公園内の案内など来園者の問い合わせなどに多言語で対応することのできる総合インフォメーションも 3 周年を迎える年度でしたが令和 2 年 3 月頃から新型コロナウイルス感染症の影響で施設使用状況も大きく落ち込み入居テナントの対応に追われる 1 年になりました。令和 2 年度には 2 つの空き区画が発生し、更に 1 つの空き区画が今後発生することが決定しております。令和 3 年度も引き続きコロナ禍での事業運営が続くことになります。また観光客の来園があまり見込めない状況を鑑み、令和 2 年 11 月より大阪城オンラインショップ（EC ショップ）を立ち上げ、大阪土産や図録の販売を開始いたしました。

令和 2 年度の店舗売上・施設利用者数は下記の通りです。

令和 2 年度 JO-TERRACE OSAKA 売上・利用状況

(消費税別)

	売上	利用者数 (人)	備考
令和 2 年 4 月	17,526 千円	13,431	
令和 2 年 5 月	12,387 千円	12,724	
令和 2 年 6 月	29,687 千円	26,643	
令和 2 年 7 月	34,031 千円	25,428	E テラス 103 区画テナント撤退
令和 2 年 8 月	34,585 千円	32,557	
令和 2 年 9 月	55,834 千円	38,809	
令和 2 年 10 月	76,953 千円	46,796	
令和 2 年 11 月	141,703 千円	61,229	
令和 2 年 12 月	59,055 千円	32,871	
令和 3 年 1 月	55,769 千円	25,510	
令和 3 年 2 月	72,135 千円	42,134	

令和3年3月	135,635 千円	68,028	D テラス 102 区画テナント強制明渡完了
令和2年度合計	725,300 千円	426,160	

※利用者数は各店舗レシート客数になります。

JO-TERRACE OSAKA 運営状況

施設利用状況は、週末や休日・大阪城ホールイベント開催日・太陽の広場イベント開催日を中心に利用者が増加する傾向は令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止及び実施されても人数制限やイベント終了後の行動変容（即時帰宅）により著しく減少しました。また、テナントより売上激減による施設使用料等の減額、減免要望が多数あり、その対応に苦慮した事業年度となりました。空き区画2区画については引き合いはあるものの現在の感染状況にも影響をうけて契約には至っておりません。合わせてこの状況が長期化することで更なる退店テナントの発生も予想されますので後継テナント誘致の対策も進めて参ります。

課題等

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響で空き区画の後継テナント誘致が困難。
- ② 新型コロナウイルス感染症の長期化や収束後の集客状況変容による売上減少で、テナント撤退の懸念。
- ③ 多くのテナントがデリバリー事業の導入により、デリバリー業者配達員の公園内への單車乗り入れ事案の多発。

令和2年度 JO-TERRACE OSAKA 収入

(消費税別)

関係店舗	項目	金額
JO-TERRACE OSAKA (A～F テラス) 20 店舗	使用料等	134,819 千円
JO-TERRACE OSAKA (G テラス) 1 店舗	使用料等	79,633 千円
直営オフィシャルショップ	売上原価益	5,671 千円
収入合計		220,123 千円

10. MIRAIZA OSAKA-JO にかかる事業報告書

旧第四師団司令部庁舎をリノベーションし、平成 29 年 10 月に新たな複合施設として誕生した「MIRAIZA OSAKA-JO」。1 階にカフェとお土産物ショップ、2 階 3 階にレストラン、屋上には、眺望の美しいテラスレストランを開設しています。また、玄関口に観光情報を発信するインフォメーションを設置し、1 階南端には大阪城公園の歴史を解説した展示エリアを設けて、本丸エリアを訪れる人々へ情報を提供しています。

令和 2 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により大阪城天守閣への観光客は激減し、同様に MIRAIZA OSAKA-JO の入館者も激減しました。新型コロナウイルスの感染拡大が何度も繰り返され、その度に、政府・自治体からの要請により、各店舗は営業の自粛、時短営業などの対応を取りました。

1 回目の緊急事態宣言が解除されて国内感染者の数が落ち着いた頃に、大阪市の事業として、疫病退散の願いを込め、赤い天守閣と虎が描かれた「赤絵」を、ミライザ各店舗を利用したお客様にも配布しました。大阪城公園全体としても取り組み、公園を訪れた人たちに少しでも元気になっていただこうという試みでした。

屋外で感染防止が図りやすい屋上のテラスレストランが好調で、新しい層のお客様にお越しいただくことができた半面、国内の観光客も移動の自粛が何度も繰り返されたことにより、年度を通じて全テナントが大きなダメージを受けました。各テナントは、売上の昨年比が大きくマイナスになり、経営的に厳しい状況に陥っています。

運営状況

① レストラン&カフェ

1 階には、喫茶・軽食を提供するカフェと、たこ焼きをメインにした飲食店を配置しています。これまで観光客をメインターゲットにしてきたため、大きく売り上げを落としています。地元や近隣のお客様にももっと楽しんでもらうよう、メニューを工夫するなどターゲットを切り替える努力は続けてきましたが、特に平日の入館者数の落ち込みが大きく、厳しい経営状況が続いています。2、3 階には、近代建築を生かしモダンな内装の中で、ランチやディナーをお楽しみいただくことができるレストランを配置しています。2 階のイタリアンレストランは、特に国内のお客様を意識し、毎月、旬の食材を活かしたメニューの提供を続けています。好評のビュッフェスタイルでの食事提供は一定の期間取り止め、個別の配膳型サービスに切り替えています。国・自治体のガイドラインに沿って感染対策等を構築し直し、ビュッフェを再開しています。3 階の“和のテイスト”を活かしたフレンチレストランは年度を通して休業しています。屋上には、天守閣を臨むテラス・レストランを設置し、3 月から 11 月の期間は、季節限定でバーベキューのできるレストランとして営業しています。（冬季はカフェ・レストランとして運営）日本随一

のキャスルビューを楽しみながら食事ができるお店としてリピーターも多く、コスト以上の料理や食材・サービスの質の高さが口コミで広がり、コロナ禍でも、多くの方々にご利用いただくことが出来ました。感染リスクの少ない屋外での営業であるのも、好調の要因であると思われます。憩いを求めて来園される方も多い中、市民にゆったり上質なサービスを提供しています。

他に、テナントにとって大きな経営の柱となるバンケットルームや結婚式の運営について、年度を通じて受注数は減り、大きな宴会やパーティーはほとんど行われませんでした。一方、結婚式は、歴史的な近代建築をリノベーションした建物は趣があり、スタッフのサービスも評価が高く、感染対策を十分に施し、規模を縮小した形で粛々と行われています。

② お土産物販売

本丸エリア西側にあった売店「大阪城・本陣」を平成 29 年に本施設の 1 階に移設し、「本陣」「忍屋」という 2 店舗が営業しています。これまで、主にインバウンドの観光客をメインターゲットに商品の構成をしてきたため、今年度は大きく売上を落としました。

ターゲットを国内観光客・近隣からの来園者に変え、大阪らしい土産物、日本の心を伝える和雑貨などに加え、マスク等の日常品や人気アニメのキャラクター関連商品を増強する等、さまざまな工夫・努力を重ねています。

PMOでは集客の推進のための施策として、10 月から 12 月にかけて、大阪歴史博物館の特別展「埋忠〈UME TADA〉桃山刀剣会界の雄」と連動する企画を実現しました。それは、ミライザの 1 階廊下に、展覧会に出品された刀剣を擬人化した「刀剣乱舞」の人気キャラクター達の等身大パネルを、写真を撮れるよう設置。展覧会のご案内や特製グッズの販売を「忍屋」店内で展開したものです。結果的に予想を上回る多くのお客様が、ミライザに立ち寄っていただきました。

しかし、度重なる感染拡大の波による影響は、単発の企画だけで盛り返すことは難しく、閑散期は平日に休業する店舗もありました。

③ インフォメーション

1 階ロビーの観光インフォメーションでは、大阪城公園の情報ははじめとし、大阪観光のお手伝いもできるよう幅広い情報を提供しています。天守閣のインフォメーションや JO-TERRACE OSAKA、パークセンターとも連携し、公園内の回遊性の向上を図っています。

コロナ禍の中でも、訪れる旅行者にとっての「旅のコンシェルジュ」として手助けになるよう努め、サービスを維持しています。

④ 歴史情報等の発信

1 階南端に設置した展示室「特別史跡・大坂城跡」は、大阪城公園の歴史と公園各所の見どころを解説・展示したエリアで、オープン以来、多くの来場者の方にご覧いただいています。

今年度は、インバウンドの旅行者でにぎわっていた時よりも、国内旅行者や近隣の方々がじっくりとお楽しみいただいている姿が多く見受けられました。感染対策を行いながら、コロナ禍でも展示室の開放につとめています。

⑤ 体験施設

地下1階の北側と南側に、2つの体験施設を運営していますが、今年度は共に休業しました。

1つめは「侍・忍者体験」。「日本殺陣道協会」による「殺陣」の体験施設。着物の着付けから始まり、刀の持ち方、振り方の指導を経て、最後にはチャンバラを体験しています。侍や忍者の姿で記念写真も撮影できるという、まさに日本文化を丸ごと体験できる施設です。これまで、さまざまな国からの観光客に楽しんでいただけてきました。今年度はインバウンドのお客様が途切れ、また、着物の着付けや消毒など、感染に留意すべき点が多く、年度を通して休業しました。コロナの影響が続く令和3年度も、当面の間休業する予定です。

もう1つは、古今東西のマジック、トリック、イリュージョンを一堂に集めた「イリュージョン・ミュージアム」です。年齢・性別や出身国を問わずどなたでも大いに楽しめるイリュージョンショーのほか、言語に左右されず「見ただけで楽しい」イリュージョンの数々について、天守閣の貯蔵品も一部使用した展示を行い、マジックの歴史を紹介してきました。これまで、主にインバウンド入場者の売上をベースに構築しており、感染対策とコスト増など、経営的に存続が可能なかを現実的に検討した結果、残念ながら今年度をもって閉館することになりました。

令和2年度 MIRAIZA OSAKA-JO 各店舗売上 および PMO収入

消費税別（単位：千円）

月	物販 (本陣・忍屋)	軽食 (タリーズ・利休)	レストラン (TLO)	ウエディング グ バンケット	地下施設 殺陣・IM
4	1,158	819	2,192	29,917	0
5	943	990	570	11,908	0
6	2,864	1,619	11,237	8,807	0
7	3,074	1,482	16,501	14,951	0
8	3,055	2,032	23,505	20,695	0
9	3,998	2,524	19,293	23,637	0
10	4,314	3,109	23,931	56,093	0
11	10,582	6,290	16,844	81,993	0
12	3,761	1,746	7,858	60,750	0
1	1,963	2,121	1,395	23,747	0

2	1,896	4,222	2,961	50,788	0
3	7,996	6,028	14,633	94,714	0
合計	45,604	32,982	140,920	478,000	0

関係店舗	項目	PMO 収入（千円）
MIRAIZA OSAKA-JO 5 店舗	使用料・共益費他	180,291
直営地下 2 施設	売上	0
収入合計		180,291

課題等

令和 3 年 4 月現在、新型コロナウイルスの感染拡大の波に何度も襲われ、いまだ収束の目途はたっていません。国内においては、ワクチン接種が国民のある程度の範囲まで広がるのが目安となると思われ、その時期は令和 3 年度の後半以降と考えられます。一方、インバウンド客が再び大阪に戻るまでには、もっと時間を要すると思われます。

MIRAIZA OSAKA-JO は、大阪城天守閣前という絶好の位置にあるがために、観光需要の恩恵を受けてきました。国内外含めた観光客が活発に訪れる時期がくるまでは、近隣住民や大阪市民・近郊の方々に向け、地道にサービスを提供する努力を続けるしかありません。各店舗には、経営的に苦しい時期が続きますが、コロナ禍を乗り越え、長く続けられるよう、可能な範囲で手を差し伸べたいと考えます。

今年度集客の一助となった、天守閣に関連した「赤絵」事業、「大阪歴史博物館」や「刀剣乱舞」とのコラボレーションのように、大阪城とその歴史も意識した企画を実現し、集客に繋げたいと考えます。また、令和 5 年の 4 月に予定され、当施設と隣接することになる「大阪城豊臣石垣プロジェクト」公開についてどのように連携していくか、探っていきたいと思います。

現時点で、ミライザで最も人気のある施設は、屋上のテラスレストランです。ここへの集客のために、積極的に店舗に協力していきます。WEB・SNS や園内看板などを有効に活用して応援し、ミライザの入館者を増やします。また、屋上のテラスレストランの一角で、令和元年度よりスタートした「ええもんマルシェ」の企画にも協力します。これは店舗が主体となり、月に 1 回のペースで、大阪及び近隣の農家等に協力いただき、野菜・果実、「大阪ええもん」等を集め、フリーマーケットを催すものです。今年度は、日程が感染拡大期にあたることも多く、何度も中止を余儀なくされましたが、令和 3 年度は月 1 回の開催を目指し、近隣の「ファン」を増やしていきたいと考えます。

昨年秋に実施され、大きな効果があった「Go To キャンペーン」「地域共通クーポン」「Go To イート」など国・自治体の振興策は、各店舗に活力を与えることになりました。今後も、このような施策をいち早くキャッチし、販促企画や国内旅行者への情報発信に努めます。

課題のひとつとして、「イリュージョンミュージアム」を閉館した後のミライザ地下の活用についての問題があります。立地的に、観光地としての大きなメリットと、アクセスの悪さというデメリットが共存しています。じっくりと腰を据え、社内及び・関連各社の英知を結集して、検討していきたいと考えます。

11. 森ノ宮噴水エリアにかかる事業報告書

森ノ宮噴水エリアはコロナ禍においても他のエリアに比べて比較的多くの来園者が見られ、休日には家族連れを中心ににぎわう日も多くありました。エントランス部分の花壇は昨年度より中央区の市民ボランティアで維持管理の一部をお手伝いいただきました。魅力向上事業により整備したローソン、アールベーカー、スターバックスやボーネルンドプレイヴィルの運営は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けましたが、ボタニカルショーケース(ガーデン)を中心とした芝生のエリアは市民の憩いの場として親しまれつつあり、エリア内の各店舗も感染拡大が小康状態になった際には多くの来園者にご利用いただくことができました。公園案内所には令和3年3月に持参した水筒に給水ができる大阪市水道局の給水スポットが設置されました。

		内訳（税別）	備考
収入合計（A）		31,854 千円	ローソン除く
項目	委託運営収入	31,854 千円	
支出合計（B）		5,655 千円	
項目	管理委託費等	1,326 千円	
	減価償却費	1,485 千円	
	共通費	2,844 千円	
収支（A）－（B）		26,198 千円	

課題等

新型コロナウイルスによる感染拡大状況の中でも公園は比較的三密（密閉・密集・密接）を避けやすいこともあり、近隣の方を中心に休日は多くの人が集まる傾向があります。その中でも当エリアは犬の散歩やランニング、ピクニックや遊具広場を利用する家族連れが多く集まることがあるため、今後は感染状況を見ながら必要に応じて密を避けるよう注意を促すなどの対応をすることが必要になるかもしれません。

12. COOL JAPAN PARK OSAKA にかかる事業報告書

令和2年度は、開館から3年目を迎える年となりましたが、新型コロナの影響を大きく受けた1年間となりました。第一波の影響下、4月から6月は、公演は0となりましたが、夏場頃から公演も開催されましたが、その後の第二波、第三波と影響は続き、今年度は、WWホール 57,980人、TTホール 27,710人、SSホール 16,410人と昨年比36%の合計102,100人を動員となりました。

(単位 人)

	WW ホール	TT ホール	SS ホール	総入場者数
令和2年4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	3,180	0	0	3,180
8月	5,920	820	0	6,740
9月	1,380	2,890	460	4,730
10月	9,680	4,910	1,340	15,930
11月	7,900	3,500	1,220	12,620
12月	10,200	6,210	4,240	20,650
令和3年1月	8,250	1,350	3,540	13,140
2月	9,520	0	2,470	11,990
3月	1,950	8,030	3,140	13,120
合 計	57,980	27,710	16,410	102,100

他の劇場やホールと同様、公演の開催自体中止となったり、主演者やスタッフが感染して公演が中止するなどキャンセルや延期が相次ぎました。収容率を下げ、無観客配信に切り替えるなどして、感染対策を講じてクラスターを出すことなく運営してきました。そのような中、SSホールでは12月から「森ノ宮よしもと漫才劇場」をスタートし新しいお笑いを発信する場としてスタートしました。徐々にクールジャパンパーク大阪の場所も認知され、公園施設、公園でのイベントなどと連携し、公園利用者との更なる相乗効果を期待します。

課題等

新型コロナウイルスによる影響で予定された公演もキャンセルになるなどし、入場者数が伸び悩みました。また、観光客が激減した影響も多大であり、入場者数を増加させるために地域の方にご利用いただける公演を増やしていく必要があります。今後は感染症対策と並行しながら入場者数の増加に努めます。

13. 園内交通システムの運行にかかる事業報告書

園内交通システムは昨年度に引き続き、来園者の利便性と周遊性向上のためロードトレインとエレクトリックカーでの運行を行いました。新型コロナウイルスの影響により外国人観光客を始め来園者が激減し、又緊急事態宣言中の4,5,1月は臨時休業をする等厳しい状況が続きました。秋頃は国内観光客や地域住民の活動が多くみられたものの、年間乗客数は昨年度比でロードトレイン82%減、エレクトリックカー94%減となりました。お客様への感染症対策を取り組みながらも、来園者数に合わせて便数を減らす等コスト削減もしております。また、安全大会を2ヶ月ごとに開催し、5年評価でご指摘いただいた従業員の接遇に関する教育や事例に基づいた事故防止のための教育や意見交換などを実施し、課題の改善に努めました。

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	合計		合計		合計		合計		合計		合計	
	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数
森ノ宮駅	0	0	365,800	1,135	590,000	1,817	429,400	1,375	555,700	1,839	1,024,100	3,324
JO-TERRACE前駅	0	0	112,800	380	322,500	1,021	262,700	862	405,900	1,291	605,300	2,079
極楽橋駅	0	0	128,400	520	206,100	789	191,200	710	232,300	872	384,800	1,512
豊國神社前駅	0	0	15,600	62	48,900	213	35,900	145	47,300	189	94,000	387
小計	0	0	622,600	2,097	1,167,500	3,840	919,200	3,092	1,241,200	4,191	2,108,200	7,302
エレック1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エレック2号	0	0	20,600	137	72,900	430	67,100	366	64,100	401	57,100	317
エレック3号	0	0	18,700	128	58,100	358	6,400	38	0	0	97,500	551
エレック4号	0	0	0	0	0	0	53,600	304	136,000	764	120,000	672
エレック5号	0	0	0	0	30,700	173	0	0	64,500	344	39,800	219
エレック6号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジャンクション1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジャンクション2号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	39,300	265	161,700	961	127,100	708	264,600	1,509	314,400	1,759
合計	0	0	661,900	2,362	1,329,200	4,801	1,046,300	3,800	1,505,800	5,700	2,422,600	9,061

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	合計		合計		合計		合計		合計		合計	
	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数
森ノ宮駅	898,200	2,929	1,781,800	5,261	508,500	1,594	363,200	1,137	726,800	2,571	1,177,900	4,069
JO-TERRACE前駅	611,500	2,276	1,045,200	3,652	254,100	839	140,300	469	361,900	1,436	680,500	2,480
極楽橋駅	406,900	1,699	767,000	3,177	190,200	752	90,300	338	322,800	1,410	552,900	2,356
豊國神社前駅	75,600	339	142,500	604	25,800	112	29,200	121	45,100	223	114,100	539
小計	1,992,200	7,243	3,736,500	12,694	978,600	3,297	623,000	2,065	1,456,600	5,640	2,525,400	9,444
エレック1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エレック2号	24,200	138	185,600	986	6,700	40	0	0	0	0	0	0
エレック3号	141,700	871	100,500	430	7,000	38	35,000	252	0	0	67,600	388
エレック4号	131,700	784	104,600	624	21,900	137	5,500	35	45,700	327	134,800	796
エレック5号	10,300	67	132,100	812	68,200	391	45,100	308	86,000	561	125,600	730
エレック6号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジャンクション1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジャンクション2号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	307,900	1,860	522,800	2,852	103,800	606	85,600	595	131,700	888	328,000	1,914
合計	2,300,100	9,103	4,259,300	15,546	1,082,400	3,903	708,600	2,660	1,588,300	6,528	2,853,400	11,358

	合計											
	金額	人数										
ロードトレイン	17,371,000	60,905										
エレクトリックカー	2,386,900	13,917										
合計	19,757,900	74,822										

課題等

2021 年度もコロナ禍からの早期回復が見込めないことから、コスト削減に継続して取り組み事業存続を図ります。また、安全大会を 2 カ月毎に実施することを継続し事故防止に努めます。

14. 施設・公園管理にかかる事業報告書

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による来園者の激減に伴い、各施設及び園内の警備・清掃について、品質を担保しつつ業務実施体制・頻度等の見直しを行いました。

令和元年に相次いだノートルダム大聖堂、首里城の火災による消失を受け、多聞櫓及び千貫櫓の公開用設備関連の電気配線の整備を実施しました。

今後も実施計画に沿って日常点検及び定期点検を行い、その際に発見した不具合については大阪市公共施設マネジメント基本方針に準じた修繕を実施するとともに、大阪市内にて計画・実施される改修・整備工事を確認しながら、計画的に改修・修繕を進めて参ります。

年間・月間作業実績

関係法令および各施設の維持管理の水準を遵守し、作成した年間・月間維持管理計画に基づき実施しました。

作業の計画・実績については、月例のPMO事業モニタリング会議にて報告し、承認を得たうえで進めて参りました。なお、各施設の主な作業実績・予定をワンペーパーにまとめた資料を追加作成し、会議での報告方法の改善を図りました。

今後は、引き続き各施設・設備の適正な作業実施時期について検証し、作業計画を策定・見直して参ります。

日常点検及び定期点検

公園利用者の安全を確保するため、日々の管理業務と併せて巡視を実施し、施設及び設備の不具合箇所や不適正利用の早期発見に努めました。2月には、遊具広場において木製デッキの床板が破損する事象が発生したため、設備員による巡視を強化するとともに日々の巡回警備にて目視確認を行いました。

定期点検は年2回実施し、報告書を大阪市へ提出するとともに点検時に発見した不具合箇所を大阪市と共有しました。

清掃

園内清掃に関しては常駐する清掃業者の責任者との連絡を密にし、放置ごみの速やかな回収及び日々の清掃状況の確認・指導を行わせることで公園の美化に努めました。

公園トイレの清掃については、新型コロナウイルスの感染拡大による来園者の激減に伴い利用者也減少したことから、利用状況・汚損状況を確認しながら、適宜清掃回数を見直しを行いました。

園内のボランティア清掃は、積極的に受け入れ市民と一体となった公園美化の推進を図っていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の観点からお問い合わせ・受付時に注意喚起を行いました。

今後は、園内のトイレ清掃に関して清掃方法の更なる改善の検討及び必要により特別清掃を計画・実施し、美化及び品質向上に努めて参ります。

警備

巡回警備については公園内を大きく3つのエリアに分け巡回を行い、不適切な公園利用及び明らかにその恐れがあると認められる者を発見した際には直ちに注意・制止し、適正かつ安全な利用を行うよう指導しました。(釣り、スケートボード、高速での自転車走行等の危険行為、犬のリード外し、ドローン飛行、楽器演奏、ビラ配布、無許可営業、他の公園利用者に迷惑となるような長時間場所を占用する行為等)

特に、園路を幅広く使用したスケートボードの急増、新型コロナウイルスの感染拡大によるクラブ活動の自粛の影響と思われる太陽の広場での硬式野球ボールを使用したキャッチボール・ノック等、特定の車両による日常的な長時間駐車が見られ、休日・夜間を中心に巡回を強化しました。

事件・事故が発生した際には直ちに現場に駆け付け、現場の保存と被害の拡大防止に努めるとともに、大阪市に速やかに報告しました。

放置自転車・ホームレス対策

公園内の放置自転車対策として、日々の巡回時に確認・警告札の貼付を行い、年間で87台の放置自転車を園内移動・保管し、大阪市に報告しました。

ホームレス対策としては、日々の巡回警備において状況を確認するとともに、実態調査・ヒアリングを実施し、都度大阪市に報告・共有しました。

「公園猫適正管理推進サポーター制度」にかかる対応ほか

公園猫適正管理推進サポーターからの報告書等の提出があった場合は受付を行い、大阪市へ適切に引き継ぎました。動物の愛護及び管理に関する法律に基づき動物の遺棄・虐待・身勝手な給餌行為(置き餌、撒き餌など)の取り締まりを行うとともに、これらの行為を行わせないように注意喚起を行い、公園利用者への啓発に努めました。

バーベキュー対策

平成29年末より実施したBBQの全面有料化により、無許可のBBQ事業者による長時間の場所取りをしての営業、大量に発生する放置ごみの問題がほぼ解消されてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による自粛ムードの中において、BBQは全面的に禁止といたしました。花見シーズンには啓発看板の設置及び巡回警備による警戒強化、声掛けを行いました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、例年花見シーズンに設置している仮設トイレ・ごみコンテナは設置しないこととしました。

光熱水使用実績

年間の光熱水（電気・水道・ガス）使用量のうち電気使用量については、施設の増加に伴い使用量も年々増加しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による来園者の激減及び施設の臨時休館・テナントの休業等に伴い、大幅に減少しました。（平成30年度：7,461 MWh、令和元年度：7,546 MWh、令和2年度：5,821 MWh）今後は、引き続き照明の点灯時間の最適化・消灯の可否について検討し、使用量の削減に努めて参ります。

水道使用量に関しても、新型コロナウイルスの感染拡大による来園者の激減及び施設の臨時休館・テナントの休業等の影響の他、漏水箇所の止水・迅速な修繕の実施により大幅に減少しました。（平成30年度：138,135 m³、令和元年度：141,198 m³、令和2年度：89,497 m³）

修繕実績

点検等の結果、異常を発見した施設及び設備は危険箇所の安全対策を行うとともに、速やかに手配を行い早期復旧に努めました。簡易な補修・修繕については内製化により、早期復旧及び費用削減を図りました。作業の実施にあたっては、危険防止のための作業エリアをバリケード等で囲い、公園利用者及び作業員の安全対策を講じました。（平成30年度：57件-1222万円、令和元年度：55件-2993万円、令和2年度：81件-1670万円／税込）

※平成30年度は、台風21号被害の復旧関係を除く

なお、長期間使用禁止となっていた遊具広場の複合遊具の修繕について、2ヶ所の遊具（スチール製スライダー及び渦巻スライダー）の元請施工者から修繕では対応できず、交換でしか対応ができないとの回答があったため、大阪市と協議し、業者を変えても良いとの回答があったため、スチール製スライダーは滑走面の修繕を実施しました。また渦巻スライダーは他社製品での交換を令和3年度の第一四半期に実施する予定です。

廃棄物実績

新型コロナウイルスの感染拡大による来園者の激減及び施設の臨時休館・テナントの休業等の影響に伴い、公園・各施設とも廃棄物の量は大幅に減少しました。また、例年花見シーズンに設置しているごみコンテナは設置しないこととし、ごみの持ち帰りの呼び掛けを行いました。

今後は、引き続き公園の美化を目的としたごみ持ち帰り等の啓蒙活動を推進して参ります。

要望・苦情

令和2年度は69件の要望・苦情を受け付けました。公園利用者、市民等より頂戴した要望・苦情は誠意を持って対応し、措置が必要なものに対しては原因究明と不具合解消に向けて取り組みました。

車両通行許可

令和２年度は 5,211 台分の車両通行許可書を発行しました。通行許可にあたっては常に停止できる速度（最徐行）での走行や重量基準（積荷と合わせて 8 t 以下）などを遵守し、園内の安全確保に努めるよう指導しました。

占用許可の窓口としての対応業務

占用許可の対応窓口としてイベントの日程調整や安全管理等を主催者側と打ち合わせをしました。

行為許可

令和２年度の行為許可実績は 705 件 5,064,961 円（税抜）となりました。緊急事態宣言中はやむを得ないものを除き原則自粛のお願いをしました。

課題等

温暖化の影響と思われる豪雨が多くなってきており、特に森ノ宮噴水広場から青屋門下付近にかけては川のような状態となるため、来園者が園路の横断に苦慮されることが散見されます。雨水枡や排水管の清掃を計画的に実施してきましたが、豪雨時の水量が排水計画量を上回ってきていると想定されるため、大阪市と検証・検討を進めて参ります。

15. 植栽管理にかかる事業報告書

来園者に対し、気持ち良く安全な公園の緑・草花景観を提供するために大阪城公園事務所と適宜打合せを行い、経験、知恵を頂きながら緑地管理を計画し、特に5年間評価を受けて樹勢回復の為花木(サクラ、ウメ、モモなど)に対し、施肥の量の増加及び剪定について害虫予防のために枝を間引く等管理手法を工夫しました。また、適正量の施肥を行う等の作業を行いました。また、石垣、濠など大阪城公園特有の施設に対し格別の注意を払い管理を行いました。特に危険な枝について発見したらその都度対応、撤去致しました。引き続き植物発生材は剪定枝、落ち葉、刈り草などの植物ごみを園内処理する目的でチップ化を行い、活性堆肥として園内のマルチングに利用しました。

事業計画に対して

(1) 留意事項

- ① 実施にあたり、関係法令等を遵守するとともに、年間・月間維持管理計画を作成し、モニタリング会議で大阪市の承認を得たうえで、適切な時期・方法により行いました。
- ② 業務の実施にあたり来園者の安全を確保するため、日々の管理業務と併せて土曜日を含めた園内巡視・日常点検を行い、枯枝などの不具合等を発見した場合、適切かつ迅速に対応し、適正な公園利用、維持管理、安全対策に反映させました。しかし樹木個体が枯死した樹木や植栽は、一覧表は作成し優先順位を付けて対応致しましたが全てを撤去出来ておらず、大阪城公園事務所と打ち合わせの後対応致します。
- ③ 作業にあたっては、危険防止の為作業エリアをカラーコーン、バリケード等で囲い、「作業中・立入禁止」であることを明示し、必要に応じ交通整理員・見張り員・誘導員等を配置し安全対策につとめました。またやむを得ず通行止めや通行規制等を行う場合は、東警察署に道路使用許可を得るなど事前に協議し来園者・公園利用者の安全対策を講じました。
- ④ 今年度植栽管理において、第三者災害を含め事故は発生しませんでした。
園内で事故が発生した場合は、速やかに対応・処理・拡大防止を行うとともにその状況等を大阪市及び関係機関に連絡・報告致します。
- ⑤ 剪定枝葉等の運搬にあたっては、飛散防止対策を講ずると共に過積載防止を遵守し関係法令を遵守致しました。
園内管理車両は公園利用者に十分注意し、最徐行にて走行しました。

- ⑥ 管理対象植物の台帳管理を行いました。また植栽により増数、撤去により減数が発生した場合は別表で管理しました。
- ⑦ 樹木管理にあたっては常に公園内の見通しを確保するために低木を部分的に 1mの高さに切り下げる等の作業を行い、景観の向上事故や犯罪等の発生の抑制に努めました。
- ⑧ 危険木、枯枝、掛かり枝の早期発見に努め、迅速かつ適切に除去して枝等の落下事故等の発生予防に努めました。また回収、運搬の際には積荷の飛散防止、荷台からはみだした枝による事故の発生予防に努めました。
- ⑨ 当該公園に植栽された植物の特性を踏まえ、植物の良好な生育に必要な作業を、適切な時期に決定した方法で細心の注意をもって作業にあたりました。
- ⑩ 殺虫剤、殺菌剤等の農薬については、公園内保管は行わず、必要になった場合はその都度持参し、使用後の残りは持ち帰りました。
- ⑪ 殺虫剤、殺菌剤等の農薬使用に際しては、飛散範囲や散布後の効能期間、公園利用者等の健康面（アレルギー等）にも十分配慮して作業を行いました。
- ⑫ 植物の残材処理については、所定の場所に集積しました。廃棄物の処理及び清掃に関する法律など、関係法令を遵守し、適切に保管・処分を行いました。なお、剪定枝等の処分について、大阪市建設局と協議のうえチップ（活性堆肥）化など、環境に配慮した処分に努めました。

（２）管理の水準

- ① 剪定（高木）
 - ・ 樹種特性や樹勢に応じて剪定の必要性や度合いを見極め、適切な時期と方法で行いました。
 - ・ 公園樹木の剪定は、自然樹形仕上げを踏襲、基準とし、骨格枝を更新するなどの方法を活用して樹形を維持しました。
 - ・ マツの剪定においては、著名な造園家に指導を頂き、景観のレベルアップを図りました。
 - ・ ウメ、モモ、アジサイ、フジなど花木類の剪定は、花芽の分化時期や着蕾位置に注意して行い良好な開花を促す事が出来ました。
 - ・ 樹種に応じて枯枝や混みあった枝等の枝抜き（間引き）作業などを行いました。
 - ・ 並木等、園路や広場など利用が多い場所は、特に枝の落下等の危険性を除去するとともに、景観面に配慮し、枯枝及び枝抜きなどを適切に行いました。
 - ・ 高所作業の災害発生を防止するため、手順書の作成等必要な安全対策を講じ、現場での作業

を行いました。

② 刈り込み（中低木）

- ・低木類が大きく育ち、園路へのはみ出しによる通行障害や見通し不良など不具合があったため、部分的に大きく切り詰める作業を実施しました。
- ・密生箇所を刈り透かし、刈地原形を考慮しつつ、年間を通して美観を損ねないよう適切に刈り込みました。
- ・美観を維持する為、主幹園路や掘沿いの刈り込みは連続性をもった景観保持に留意し、エリアごとに完成させてから、次のエリアに移りました。
- ・道路際や園路際で通行障害となる箇所及び施設等と隣接地においては、安全等に配慮し、刈り込みを適宜行いました。
- ・次期の開花を考え、生垣は適切な時期に樹形の整正を行うための刈り込みを行いました。
- ・花木類を刈りこむ場合は、花芽の分化時期と着蕾位置に注意して行い、開花させることができました。
- ・刈り込みの際は、植栽地内及び周辺の除草も併せて行い、ヤブガラシなどツル性の雑草については、出来る限り根から抜き取り除去しました。

③ 枯木撤去

- ・枯木の有無を日常的・定期的に点検し、早期発見と撤去に努め、倒木による事故等を未然に防ぎました。また作業にあたっては安全な作業領域を十分に確保し、事故等を未然に防止しました。
- ・枯損樹木の一覧表を作成し、順次除去を行っております。令和2年度は13本の枯損樹木の撤去を行いました。
- ・樹木撤去については、原則地切りしております。地切りにあたっては、来園者が躓かないよう地表面での切除に心掛け、出来ない場合は土をかぶせる事で段差を無くしました。
- ・抜根は根返り倒木したもの、史跡に影響のないもので実施しました。史跡エリアで抜根が出来ない場合は、切削または地際での伐採を行いました。
- ・根または幹の一部を存置する場合は、事故が生じないよう適宜対策を講じました。

④ 障害枝等剪定

- ・来園者や管理車両の通行等の障害となる枝や、枝折れによって落下するなど、事故につながるおそれのある枝は切除し、来園者の安全確保に努めました。
- ・枯枝の有無を日常的に点検し、早期発見と除去に努め、落枝による事故等を未然に防ぎました。

⑤ 病虫害防除

- ・農薬使用にあたっては、農薬取締法等の関係法令やメーカーの使用安全基準を遵守するとともに、害虫の早期発見に努め、使用を最小限にとどめるように努めました。
- ・農薬は使用時持参し、使用后持帰り保管することを徹底し、大阪城公園内に保管することはありませんでした。
- ・散布に際しては、「公園・街路樹等の病虫害・雑草管理マニュアル（環境省水・大気環境局 平成30年3月）等を遵守するとともに、散布にかかる事前・事後の周知方法及び期間については、事前に大阪市の承諾を得ました。
- ・害虫発生時は、農薬を使用しない方法（剪定防除、捕殺、巣網剪除等）により防除を行いました。農薬使用時は、事前事後の告知等により来園者に周知の上、安全衛生対策を実施しました。
- ・病気発生の早期発見に努め、原因に応じた農薬を使用して早期に改善しました。なお、松枯病、PPV等の発生時には被害の拡大を防止する為の処置を迅速に行うこととしておりました。今現在上記緊急性を要する事項は、確認されていません。
- ・平成28年度に当公園に発生したカシノナガキクイムシは、令和元年度に続き今年度も発生しませんでした。引き続き調査を行います。
- ・平成30年1月に特定外来生物に指定されたクビアカツヤカミキリについて、公園内のバラ科樹木の点検を実施しましたが、令和2年度はフラスも発見されませんでした。令和3年度も引き続き点検を実施していきます。

⑥ 灌水

- ・花壇、地被植物、芝生、花木、植栽樹等が枯損しないよう灌水を行いました。夏季の水分不足は防ぐことが出来たと考えます。また、特別園は従前より灌水回数を増やし、点検を行う事で水不足を防ぎました。

⑦ 施肥

- ・施肥を行う際は、樹木特性や肥料の目的（寒肥、追肥等）を考慮し、効果的な時期、方法で行いました。

⑧ その他

- ・不要になった支柱及び添木の撤去を行いました。一部残っている支柱や添え木は逐次撤去して行きます。
- ・支柱等の結束に使用する針金等は、端部処理及び保護を適切に行いました。

⑨ ウメ、モモの管理

- ・花後、早咲きから遅咲きの品種に合わせて翌年の開花に影響を与えないよう速やかに剪定を行いました。また樹形維持のために枝等の更新を行いました。令和2年度の開花状況は前年

度同様充実していたと考えます。

- ・花後の剪定以降、成長に合わせて芽摘みを行い、小枝の展開と充実を図りました。
- ・開花前に整枝剪定を行い、樹形を整えました。
- ・梅林、桃園の管理については、とくに留意しました。梅林及び桃園については管理マニュアルを作成し、マニュアルに定めた手順に沿った管理を行いました。
- ・PPV の感染予防として大阪城公園梅林、桃園専用の剪定鋏、ノコギリを使用し、前後にはアルコール消毒を行いました。また、その道具を誰が何時使用したか履歴確認が出来るよう台帳管理を行いました。
- ・園路沿いは剪定回数を3回／年（従来はすべてのエリア1回）に増やし、灌水の回数も昨年度より増やしました。

⑩ マツの管理

- ・樹木全体や枝ごとの樹形及び樹勢を考慮して、適切な時期に剪定を行いました。
今期は石垣ドローンの撮影調査日程があった為、マツの剪定と石垣清掃が反対になりましたので、正月を迎える前、年内に剪定を終えることが出来ず、2月に掛かりました。
- ・5年間評価の指摘も有り、著名な造園家に指導を頂き、思い切った枝抜き、将来を見据えた切除位置の改良を行う事で景観のレベルアップを図りました。

⑪ 芝生管理

- ・刈り残しやムラが無いよう均一に刈り込み、除草は部分的に手抜き除草とし丁寧に抜き取りました。
- ・育成の為、エアレーション、目土散布、灌水、施肥等の作業を適切に行いました。
- ・西の丸庭園及び大阪城野球場の芝生管理は、年間を通して常に良好な状態を保つため、芝生の生育状況を把握し、芝刈り、病虫害防除、灌水、施肥、目土等を必要に応じて行いました。
また芝刈りは、樹木、施設などに損傷を与えないよう注意し、刈り残しやムラの無いよう均一に刈り込みました。縁切りは、園路に「ほふく茎」が進入しないよう切り込みました。

⑫ 地被管理

- ・植樹帯等にある地被については、ごみ、雑草、落ち葉等の堆積に留意し、適正に管理しました。また、令和2年度に補植は有りませんでした。

⑬ 花壇管理

- ・園内の路地花壇、プランター等は常に美しく鑑賞できるよう年間計画工程を作成し、植替えを行いました。
- ・適宜、中耕除草、花がら摘み、灌水、施肥等の必要な作業を実施し、草花の良好な状態を維持しました。

⑭ 野球場・太陽の広場等の整備

- ・野球場や太陽の広場等のメンテナンス作業を行う場合は、事前に利用状況等を確認し、年間のメンテナンス計画を作成して作業を行いました。作業の実施にあたっては、オーパスシステムに作業日時を登録し施設利用者に周知しました。
- ・運動施設の機能性や安全性、快適性に配慮し、常に良好な状態を維持するよう努めました。
- ・必要に応じて、土入れ、不陸整正、集水桝清掃などを行いました。

⑮ 掘及び流れ等（自然形態の水景施設）の水面清掃

- ・掘の水面の環境保全、美観や景観保持のため、全域の藻や浮草等の状況を点検し、ボート等の機材を活用して、除去作業は年1回（冬季）、場所によっては2回（東外堀、内堀トライアスロンは中止となりました）を基本に実施しました。また、藻や浮草の繁茂の状況に応じて、適宜、全域あるいはエリア別に同様の作業を行いました。特に6月の藻が発生し始めた時点で駆除することで大量発生を防ぐことができました。
- ・掘に面して陸地等から除去が可能な藻や浮草、浮遊ゴミについては日常的に除去作業を行いました。
- ・流れ等は、コロナ禍で水の流入を止めていた為、藻や浮草、浮遊ゴミの除去等清掃は有りませんでした。
- ・日本庭園の池は落ち葉の清掃を定期的に行いました。また、水質浄化装置を設置し、テストを行っております。

⑯ 空堀清掃

- ・空濠の環境保全、美観や景観保持のため、全面、夏季及び冬季に年2回、石垣に付着する草、雑草や雑木、ゴミ等の除去を行いました。また、雑草等の繁茂状況やごみの状況に応じて、適宜、全面あるいはエリア別に同様の作業を行いました。

⑰ 石垣清掃

- ・石垣の環境保全、美観や景観保持のため、石垣の間から発生する雑木や雑草、石垣に付着する草、ゴミ等の除去作業を行いました。全体を冬季に実施しました。
- ・石垣清掃実施時には、併せて空濠、濠の水面清掃を実施しました。
- ・石垣等の清掃にあたっては、2本のロープで作業員を確保し墜落災害の防止に努めました。

⑱ 公園の魅力向上

- ・森ノ宮エリアの店舗周辺と共に芝生広場やボタニカルショーケース、せせらぎ植栽帯の維持管理を行いました。今後も公園の玄関として、また、おもてなしの空間として相応しい管理を実施していきます。

- ・JO-TERRACE OSAKA 及び MIRAIZA OSAKA-JO、COOL JAPAN PARK OSAKA などの商業施設については清潔感を第一に、周辺の植栽管理を実施しました。

⑱ 課題や今後の取り組みについて

5年間評価の指摘にもあった特別園の枯れ老木化による樹勢の衰退を抑制するためにウメ、モモについては管理マニュアルを作成し、手順に沿った管理を行うことで樹勢の維持を図っていくようにします。また、必要な経費と人員を充当するという点についても具体的にどのようなことができるのか検討していきます。サクラについては樹勢の弱っている城南エリアと西の丸庭園内で施肥及び枯枝の撤去を行いました。また、市民に花壇の灌水や除草、花がらピンチ等の手入れを行っていただき、これまで梅林だけであった市民参加による植栽ボランティアが花壇にも拡がりました。今後はさらにホームページに季節の花の開花情報を掲載する等の情報発信を行うとともに枯枝の除去などに努め、来園者が安全に楽しめるよう今後も維持管理していきます。

16. 観光拠点化の推進にかかる事業報告書

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による施設の閉館やイベントの中止などを受け、また、事業収入の減少を受けての経費削減に取り組んだため、予定していたプロモーション等は大幅に削減することになりました。

【1】ホームページの更新

昨年度に改修した大阪城公園ホームページで大阪城公園の魅力の一つである木々や花のページを充実させ、桜梅桃李などの花木を活用した公園としての季節に応じた魅力発信ができるようになりました。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いた2月には多くの来園者が梅林に訪れました。

【2】プロモーションについて

昨年度まで参加していた旅行博などのイベントは新型コロナウイルスの影響で中止となり、参加することはできませんでした。フェイスブックやInstagramでのSNSを通じた情報発信は引き続き実施し、これまでのような写真や文章だけでなく、来園ができない方などにも公園の魅力伝わるよう動画なども加えて発信をしました。

また、新たな取り組みとして近隣商業施設のもりのみやキューズモールBASEと共同で園内数か所のポイントとキューズモール施設のポイントを周遊しながらデジタルスタンプを集める「もりのみや魅力発見スタンプラリー」を令和2年10月17日～11月30日の期間で実施しました。大阪城パークセンター、MIRAIZA OSAKA-JO インフォメーション、JO-TERRACE OSAKA インフォメーションの3か所で集めたスタンプの数により景品と交換し、延べ2,294名のご参加をいただきました。

【3】園内サインの見直し

公園内に設置されている地図の更新を予定しましたが、経費削減のため当年度の実施を見送りました。しかしながら全体的に紫外線による損傷などで見づらくなっている箇所もあり次年度は更新を検討しています。

【4】櫓公開事業

令和2年度 期間 令和2年4月～10月

(新型コロナのために4/11～5月末まで休業) 公開日数 58日

入場者数 5,057人

参考

令和元年度 84,227 人

平成 30 年度 105,435 人 大阪北部地震 西日本豪雨 台風 21 号

平成 29 年度 128,891 人

平成 28 年度 103,367 人

【5】イベントの実施

大阪城公園の魅力向上のための賑わいづくり事業として各種イベント計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実施はごく一部となりました。

- ・大阪城内堀：大阪城御座船（4/1～3/31、貸切除く、緊急事態宣言時休業日有）

利用者：11,690 人

- ・西の丸庭園：櫓特別公開 2020（4/1～10/11、土日祝のみ/春・夏連日公開、緊急事態宣言時休業日有）

利用者：5,057 人

- ・京橋口～山里丸：大阪城ナイトウォーク「SAKUYA LUMINA」（4/1～1/3、緊急事態宣言時休業日有）

集客数：2,260 人

- ・「秀吉出世の地・近江長浜～大阪城ファミリーフェスティバル2020～」開催見合わせ

- ・大阪城天守閣他園内：赤絵配布（5/20～12/27）

- ・ジョー・テラス・オオサカ前：大阪城マルシェ（8/1～2）

- ・本丸広場：「豊国踊りと河内音頭～出世双六太閤記～」（8/8）

参加者：約 320 人

- ・「大坂冬の陣図屏風（デジタル想定復元）完成記念

特別オンライン対談 名場面から読み解く大坂の陣」（8/22）

チケット購入者 187 人

- ・西の丸庭園 他：大阪城謎解きゲーム第 7 弾 明智光秀の危機（10/31～3/19）

集客数：1,406 人

- ・本丸広場：「駆け上がれ！秀吉～大阪城の秋まつり 2020～」(11/21～23)

参加者：約 3,480 人 (3 日間各プログラム参加者合計)

- ・大阪城天守閣：「大阪城天守閣のお誕生日」を記念して登閣証明書を配布(11/7)

配布数：約 2,000 枚

- ・西の丸庭園：大阪城イルミネーション (11/27～3/8)

集客数：31,445 人

- ・大阪城天守閣：迎春ちょろけん年賀状配布 (1/2～31)

【ケータリングカー・露店営業】

- ・森ノ宮口：植木市のグルメ茶屋 (4/1～7)

- ・森ノ宮口：お散歩グルメ茶屋 (8/1～9/17)

- ・森ノ宮口：森のグルメ茶屋 (10/17～11/29)

- ・森ノ宮口：冬のグルメ茶屋 (12/5～1/24)

- ・森ノ宮口：春のグルメ茶屋 (2/11～3/31)

- ・城南、青屋門、東外濠、大阪城ホール前：露店営業 (4/1～)

課題等

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の状況に応じてイベントの中止等が相次ぎ、実施できたイベントも感染防止対策を行った中で限定的な開催となりました。中には準備を進めていたが直前のキャンセルとなり、それまでの準備が無駄になってしまうものもありました。こういった状況下でも素早く対応できるよう事業規模の検討をし、延期や中止等を行っても影響をできる限り最小限に抑えることができるようにすることが課題かと感じております。